

〔史料紹介〕

弘前藩庁における

文書管理帳簿の紹介と翻刻（その1）

山田 哲好

（国文学研究資料館 研究部 准教授）

二〇〇九年十一月、東京古典会の「古典籍展観大入札会出品目録」に「陸奥国弘前藩津軽家旧蔵文書」として「江戸後期～末期 目録 十四冊・御用状控三冊・藩内寺院関係書八冊他 二十六冊」が出品されていたのが当館所蔵となった。

古書店での入手経緯は判然としないが、新収文書の半数を占める文書管理帳簿の「・・題帳」は津軽家文書を所蔵する弘前市立弘前図書館に三冊が伝存している（『弘前図書館郷土資料目録 第八巻 津軽家文書目録 その2』（昭和四十六年刊）に元治元年御書方作帳の「御書部屋題帳」「浪之間御筆簡題帳」「御伝帳題帳」が収載）。したがって弘前の津軽家文書として伝来していた可能性が高いが、あるいは当時の文書管理担当役人の家に伝来していたことも想定できるが、何らかの理由で文書群や家を離れて今回の出品となったことであろう。そこで具体的な出所は確定できないが、弘前藩政文書として津軽家文書の追加扱いとした（文書記号は2009H、全て豎帳）。この文書管理帳簿の十四点の整理番号と表題は以下の通りである。

1. 壹番題帳
2. 二番題帳
3. 五番題帳
4. 六番題帳
5. 七番題帳
6. 別櫃題帳
7. 別櫃題帳
8. 別櫃題帳
9. 別櫃題帳
10. 御役所壹番御筆簡題帳
11. 御役所貳番御筆簡題帳
12. 御役所三番御筆簡題帳
13. 御蔵を印櫃入 松前御筆簡并同引出入 同別函 御軍事
14. 御蔵番櫃部分并別櫃印付 御役所御筆簡部分

文書管理帳簿は以下の五種類に分けることができる。

①「〇番題帳」 文書管理帳簿五冊（No.1～5、「壹番」～「八番」の内「三番」「四番」「八番」が欠）で、四ツ目黒糸綴で全冊小口書と「見出」が付けられている。帳簿内は「いろは」印（しるし）順に部分（ぶわけ）されている（掲出点数約四、一〇〇点余）。

②「別櫃題帳」 別櫃で保管していた文書管理帳簿4冊（No.6～9）で、四ツ目黒糸綴で全冊小口書と「見出」が付けられている。帳簿内は事項別部分で、特にNo.9の帳簿には、「弘前藩庁日記」である「国元日記」「江戸日記」が編年順に保管冊数と欠本リストが掲載されている。この両日記（前者が三、二九九冊、後者が一、二二四冊）は、「弘前図書館郷

土資料目録 第七卷 津軽家文書目録 その1(昭和四四年刊)に「弘前藩庁日記」として目録が掲載されていて(「同日録 その2」に追加分あり)、約二〇〇年間の藩政記録として最も重要な基本史料であるが、本「別櫃題帳」の記事とかなりの差異がある(掲出点数約一一、八〇〇点余、内越後検地帳一、六五二点、藩庁日記四、八七六点)。

③「御役所〇番御筆筒題帳」役所で通番筆筒ごとに保管していた文書管理帳簿三冊(No.10～11、「老番御筆筒」～「三番御筆筒」)で、四ツ目黒糸綴で全冊小口書と「見出」が付けられている。帳簿内は、「老番御筆筒」は「老番」～「十二番」、「式番御筆筒」は「老」～「十四番」、「三番御筆筒」は「老番」～「六番」と番号部分となっている(掲出点数約一、三〇〇点余)。

④「御蔵を印櫃入 松前御筆筒并同引出入 同別函御軍事」蔵内「を」の櫃に保管の、蝦夷地警衛に関係する松前御用筆筒とその抽斗と別函、軍事関係、以上に関する文書管理帳簿一冊(No.13)で、四ツ目黒糸綴で小口書に「御役所松前」とあり、「見出」が付けられている。帳簿内は表題と同様の部分(ぶわけ)である(掲出点数約四三〇点余)。

⑤「御蔵番櫃部分并別櫃印付 御役所御筆筒部分」蔵に収蔵している通番号櫃と別櫃、さらに御役所で収蔵している筆筒について、それぞれに保管文書の「部分」(ぶわけ)や「印付」(しるしづけ)の項目一覽で、いわば文書部分・印付処理上の基本帳簿といえよう。

そこで本稿で史料紹介と翻刻として掲載することにしたのは以下の背景と理由からである。

一、各時代の文書管理史究明の一環で、各藩における実態究明が進展し、その成果も着実に蓄積されている現状であること。

二、弘前藩における文書管理帳簿の新出で、総点数約一万七千点を超える文書管理の実態が具体的に把握できることと、同視点での究明が少ない同藩における文書管理史の進展に寄与できる意義があること。

紙数の関係で本稿は(その1)として、まず基本帳簿の⑤「御蔵番櫃部分并別櫃印付 御役所御筆筒部分」(整理番号No.14)と、この表題の順序に依拠し、「御蔵番櫃」の①「〇番題帳」5冊(整理番号No.1～5、「老番」～「八番」の内「三番」「四番」「八番」が欠)を翻刻掲載することとし、これら以外は統編として次号に掲載することとした。

〈凡例〉

- ① 本文を二段組とし、原本の体裁はできるだけ尊重した。
- ② 原文中の割書になっている箇所については、へんがで示した。
- ③ 字体は人名、地名などの固有名詞を除いて、常用漢字のあるものはこれを使用し、異体字・変体仮名は正字に改めた。但し、方(より)、江(え)、而(て)、尔(に)、之(の)、者(は)、与(と)、茂(も)は、原則としてそのままとした。
- ④ 表紙・中表紙・小口書・貼紙などは「」を付し、その旨を()で注記した。
- ⑤ 原本の塗抹部分は削除することを原則としたが、残した方が適当と思われる箇所にはを付して、これを示した。
- ⑥ 虫損及び判読出来なかつた箇所については□、もしくは文字数が不明な場合は「」で示した。
- ⑦ 「御蔵番櫃」五冊は、いろは順に部分され、「い」「ろ」「は」の見出が付与されているが、剥離も多い。この情報を本文に表記すれば煩

瑣となるため省略した。

【史料1 整理番号 2009H-14】

(表紙)

御蔵番櫃部分并別櫃印付

御役所御筆筒部分

〔朱筆〕

〔潰〕

御蔵別櫃印付

い

一日光并 公義年中御規

式帳

ろ

一増上寺并。幸橋。甲州川。鬼怒川

渡良瀬川御普請。伝奏御用留〔。〕朱書

は

一越後検地

に

一御巡見使

ほ

一公義御書付

へ

一東照宮 八幡宮

と

一御法事并。大赦。御施餓鬼〔。〕朱書

ち

一高岡

り

一武芸并相撲 高覧

ぬ

一御沙汰書

る

一古御用状

を

一年頭御規式

わ

一御次第

か

一御伝帳 但天和二年方宝永七年迄

よ

一右同 但正徳元年方明和八年迄

た

一御家老帳 但元禄十四年方享保廿一年迄

れ

一御家老帳 但元文元年方安永十年迄

そ

一長崎俵物御用。御参府。御下向。

御小納戸。御広敷（但近年 御誕生ハ此部ニ有）。御楽

屋。御役者。開発方。耕作方。御家中

在宅。御国産。御救米。御備米。御貯

初。御家中町借飯米年賦願。御米

方。元ノ所。御備米金。御留守方。二。一（朱書）

つ

一山方 但享保元年方安永九年迄

ね

一右同 但安永十年方文化十四年迄

な

一以上以下由緒

ら

一入替

む

一豎横濟書付

一〇（朱書）御藏御絵図并番櫃部分

御絵図

一自他之諸図并御境目論山

一寺社之図共尤本帳江取付居候

御絵図之儀者其俣本部江入置

但 御郭中御普請御用留共入

壹番

一御朱印并（脇付）「京都」公義向諸事

但 御浦触日之丸者六番変事

御届等者八番江入

一近衛様諸事

一御家被仰出并知行御書出

其外古 御朱印共

貳番

一御家諸御用并御誕生方御昇

進御結婚

一那須様諸事

一黒石様諸事

一諸御礼次第并 御継目御規式

一御祝儀差上物被下方御参府

御下向御道中一件（御守衛御登京）

但 殿様 若殿様 御参府

御下向帳計別櫃ろ印江入

一御能帳

三番

一御下浜并廻郷

一諸御行列 但 寺社御行列者寺社江入

一御湯治

一所々御出

一御狩并御備立

一学校

四番

一御用所御日記方凡而御家中

諸事

一 郡方并鳥獸一件

一 町方并人別一件

一 勘定方并知行物成米金検見

御蔵三都御用留

一 山方

但 御境目論山之儀者御絵図

之部江入

五番

一作事方并諸御普請

但 御郭中御普請帳者御

絵図之部江入

一 寺社方

但 凶事向共尤御普請之儀

者作事江入

六番

一 御武具蔵

一 御医者

一 御役者

一 日之丸御浦触并凡而船湊

一 九浦

一 他領

七番

一 松前并異国一件

八番

一 変凶 公義御預人切支丹

一件

〔○〕^(朱書)御役所式番御筆筒〔但^(朱書)壹番并三番は

古来之俣ニて部
分不仕候〕

壹番

一 公義向

貳番

一 御家

三番

一 右同

四番

一 右同

五番

一 御城中廻并諸御条目

六番

一 旧家并

瑞祥院様二百五十回御忌御法会

之節差出候由緒書

七番

一 永祿日記

妙心院様 御代御日記書拔

八番

一 御用所御日記方

九番

一 御家中并御使者黒石

十番

一 三奉行并九浦作事寺社

御医者御役者

十一番

一 服忌令

十二番

一 柳営秘鑑

十三番

一 変凶

十四番

一 凡而他領

文化二壬戌年六月出来

葛西銀之進

成田栄太郎

奈良梶吉

佐々木多吉

浅井俊吉

【史料2・1 整理番号2009H.1】

〔表紙〕

〔表紙裏・短冊貼紙〕

〔朱書〕
「惣潰御印ハ拔焼之事」

〔表紙裏・短冊貼紙〕

〔御棟札〕 箱入巻

文久三亥年五月十二日東作様方

御預被仰付候

〔内題〕

〔巻番題帳〕

〔小口書〕

〔巻番題帳〕

い 印

差出もの

一 諸家系譜差出候覚

巻冊

一 御朱印所持之寺社

巻通

之輩有之おゐて者

可差出旨

公辺方之御書付

一 御系譜書拔并右之

式通

義二付江戸表二而御書

役方御用所江差出候

別紙写共

外二 道中御掟書

式冊

一 御着城前御系譜着

式冊

之節取扱向一件

寛文四年

一 御朱印被下置候儀二付

式冊

公辺方御渡御書付

貞享元年

一 御朱印所持之寺社

式冊

之輩於有之者可

差出旨

公辺方之御書付

宝永二年方正徳二年迄

一 御系譜御用御用状

式冊

書拔

右ニ付江戸表方右御用状

調方之義書付 式冊

正徳三年方元文三年迄

一 右同

式冊

享保二年

一 御系図 御染筆相

式冊

濟候為御礼於京都

近衛三御所様江御使

者相勤候覚

延享二年

一 御朱印御登一件

式冊

同年方同三年迄

一 御朱印御頂戴之一件

式冊

附 津軽郡一円之文字

御書加御願之一卷

宝暦八年

一 御系図上方方御到着

式冊

尔付御用留

同十年

一 御朱印御上下御取扱

式冊

向一件

宝暦十一年

一 御朱印御到着二付

式冊

御用留

同十二年

一 右同

式冊

同年

一 近衛様江 御系図之

式冊

儀二付往反御用状之写

天明七年

一 御朱印之儀二付鳥井

式冊

丹波守様方御渡被成候

御書付

寛政四年

一 御系図御登一件書拔

式冊

[史料紹介] 弘前藩庁における文書管理帳簿の紹介と翻刻 (その1) (山田)

- | | | | | |
|--------------|---------------------------|----|---------------|----|
| 文化八年 | 一 御系譜御登一件書 | 式冊 | 一 丹波守殿玄関式台 | 壹通 |
| | 拔并御下二付御用留 | | 修覆二付当分御用之 | |
| | 御用状扣共 (天部貼紙「三ノ丸江御渡可被致候哉」) | | 外客対御断之御席触 | |
| 文政八年 | 一 御系譜御登一件書 | 壹冊 | 一 浦賀御関所之書付 | 壹冊 |
| | 書拔 | | 一 一團初之義二付 | 壹通 |
| 同年ノ同九年迄 | | | 公義ノ御書付写 | |
| 一 御系譜御用ニ而罷登 | | | 從寛文四年至延宝四年 | |
| 於京都大坂御用状扣 | | | 一 從 御公義被仰出候 | 壹冊 |
| 同九年 | | | 御書付之写 | |
| 一 御系譜御着二付一件 | | | 寛文八年 | |
| 天保八年 | | 壹冊 | 一 火事二付 公義より諸事 | 壹通 |
| 一 御朱印御用留 | | | 節儉被仰出候御書付 | |
| 天保十三年 | | 壹冊 | 延宝八年同九年 | |
| 一 御系譜御登二付御用留 | | | 一 從 御公義被仰出候 | 壹冊 |
| | | | 御条目写 | |
| 右二付御行列 | | 壹冊 | 貞享元年 | |
| 同年同十四年 | | | 一 御感状式御書式 | 壹通 |
| 一 御系譜一件 | | 壹冊 | 御褒美先祖江被下候 | |
| | | | 趣并家来之者ニも其 | |
| | | | 品於有之者委細書 | |
| | | | 付可被差上旨阿部 | |
| | | | 豊後守様御宅ニ而被 | |
| | | | 仰渡書付 | |
| | | | 元禄三年 | |
| 一 公義御役被為蒙候御 | | 壹通 | 一 七月廿八日江戸御発駕 | 壹冊 |
| 御勤所諸事御省略之 | | | | |
| 儀被仰出候御書付 | | | | |

- 八月十八日 御着城翌
年未ノ三月十五日御国
元御発駕右
御在国中
御公義御勤之覚并
右二付御老中様方并
御役人様方江御付届
之覚帳共
元禄四年
一捨馬仕間敷旨従
公義御書付
同七年
一狼藉者又者喧嘩口論
之義二付御書付
元禄十二年
一御分限御改ニ付御知行
高御領国御本国御生
国御仮名等御書上可被成
由溝口修理様方御渡
被遊候御書付写并御聞
役御使者相勤候義
屋形様方御上被遊候
御書付之写御聞役
覚書共
同十五年
- 一御知行高御領国 式通
御本国御生国御明
細書
一御知行高御領国 三通
御本国御生国御明
細書
外二 右御明細書御差出
方之義并御使者御
返答書共 式通
一御領分熊膽差上候 老通
儀二付土井大炊頭様方
御聞役御呼出之上被
成御渡候御書付之写
天保二年
一熊膽被献方ニ付御書 四通
付写并右ニ付御用状
目形書共
外二 右心得方御伺御用状 老冊
慶長二十年方宝永七年迄
一武家諸法度 式冊
享保二年
一右同 老通
天保九年
一右同 老通
嘉永七年

- 一 右同 (朱書) 老通
- 一 文久三年 「二番や印江移」 (朱書) 老通
- 一 「へ」御上京 御免野宮宰相中将様方 老通
- 一 小見山藤兵衛江御渡御書付
- 一 元治元年
- 一 水野和泉守様方御留守居御呼 老通
- 一 出二付平井修理罷出候処公用人
- 一 井上采男を以被成御渡候浅草
- 一 ならひ本所御蔵御警衛被
- 一 仰付御書付
- 一 同年
- 一 存
- 一 松平大膳大夫様家来共
- 一 奉却 朝廷候二付征伐 老通
- 一 いたし候間忠勤を尽候様
- 一 上意振之写
- 一 同年
- 一 存
- 一 輦轂之下不穩二付諸 老通
- 一 事御任被遊候旨一橋中
- 一 納言殿江御達御書付之写
- 一 同年
- 一 存
- 一 長州人入京一件并大
- 一 和行幸会津侯守護 老通
- 一 職之処忠誠之儀二付御
- 一 宸翰之写
- 一 慶応四年
- 一 存
- 一 一將軍職御辞退之儀并
- 一 御政権を朝廷江帰し
- 一 候儀二付 御所公辺方
- 一 被仰出候御書付
- 一 存 同年
- 一 一徳川家叛逆二付 老通
- 一 御所方追討被仰付候
- 一 御書付
- 一 存
- 一 一右二付人数引纏上京 老通
- 一 いたし候様御所方被
- 一 仰付候御書付
- 一 存
- 一 一右二付御親征被仰出候 老通
- 一 御書付
- 一 明治二年正月十九日御預
- 一 南部旧領御取締被
- 一 仰付候御書付并右(朱割書・後掲) 四通
- 一 御規則郷村高帳共
- 一 (朱割書)
- 一 (但高辻帳之儀者御取締御免被為蒙仰二付御返上之旨二付已二月

廿七日御頭へ上ル

明治元年

一 (奥羽御領之内民政御取締被仰付候御書付) 三通

明治二年

存

一 南部三郡御取締被 三冊

為蒙 仰高辻帳并各県

規則其外御扱向御渡御書

付江点羽付 朝廷御役向江伺候所

御答等扣帳

寛政 享和 文化 天保

一年号改元書

一元治

四通 老通

は 印

元禄十一年

一 柳澤様江之被進物之

儀二付山川角右衛門江

状通之扣

正徳元年

一来辰四月朝鮮人来

朝帰国之節送人馬之

御書付

正徳二年

一 朝鮮人乗用鞍皆具

式冊

御用留并右申付候覚共

一 松平幸千代様御幼年

尔付御国出雲松江江

御目付衆被成御越候節

之覚書写并雲州松

江江御国目付衆御越

之節覚書共

享保六年

一 御当所江薬草就御

用丹羽正伯老被参候二付

御用之一卷

右二付書付 三通

享保十一年

一 丹羽正伯老薬草御用

尔て奥州筋江被相越

候義二付取扱向一件

外二 江戸方之書付写并

御用状写共 拾老通

同十二年

一 薬草御用二付阿部友之進

御国江参候義南部町人

片石五郎右衛門方青森

町竹内左兵衛方江知せ

之書状写

外二 木質払之義并献上

式冊

四冊

式冊

老冊

箆之図共 式通

天保三年

一 松前御警衛向も被

仰付居候得共輕御手

伝可被仰付義二付御

内意御書取并御留守

居申出共

式通

に印

一 松前不作二付御当領方

米可相廻旨戸田山城守様方

御内意被仰渡書

天和二年

一 松前兵庫庫様御伝馬

之儀二付

御公義従御目付様

方御廻文写之帳

享保十八年

一 白米江戸廻勝手次第

之義

公義方被仰渡二付陸

奥国津軽郡村々

名主御請書

同年

一 白米江戸廻勝手次第

式冊

之義二付黒石より之

返事留并右二付黒石

村代江之書状扣共

元文元年

一 此度御吹改被仰付候

金銀見覚通用無滞

様二可仕旨御請書并

奥州道中白澤方

陸奥国弘前迄宿触共

右二付奥州海道添状并添書

文字金銀包紙共 五通

同年

一 青森浅虫江御下浜之

節御奉書巡回御用留

但 文金通用之義

嘉永二年

一 下総国小金原御鹿

狩聞書之写

一 御用頼御役人并御出

入名前

一 公義御規式并遠

御成之節御行列書

一 公義御役人方鯨ヶ澤

御宿之者江木賃被下

方之覚

式冊

式冊

式冊

式冊

式冊

式冊

ほ 印

延宝八年

一家綱公様御出棺之

老冊

御書付

寛延四年

一 惇信院様御代

老冊

大御所様薨御二付

御書付

文化九年 差上候扣

一 信政公被遊御拜領候

式冊

嚴有院様 高嚴院様

御遺物之品書出之義

右二付諸書付并書状共 拾三通

弘化三年

一 仁孝天皇御葬送供

老冊

奉御行列之扣

安政五年

一 公方様御院号

老枚

但 温恭院様

慶応三年御預

一 孝明天皇御葬送御列書

老冊

同年御預

一 家茂公御葬送御列書

老冊

へ 印

一 御叙位御官物御贈

老冊

物覚

一 諸大夫御礼物定

老通

一年中定式献上

三冊

一 四月廿五日青山下野守様

老通

より御閑役被召呼罷

出候処 御在着并

御参勤御礼御献上

物之御伺書江御附札

を以被成御渡候御書付

一 御大名様御馬御献

老冊

上調

一 土佐守様御姫様御

老通

婚札御札之節御献

上物御伺書之写

寛文十年

一 平蔵様初而御内証方

老冊

御登城之節御献上

覚書

同十二年

一 於江戸 平蔵様正月

老冊

御登城之節御献上

覚書

延宝五年

一 巳ノ年御参勤方午ノ

老冊

〔史料紹介〕 弘前藩庁における文書管理帳簿の紹介と翻刻（その1）（山田）

年御下向迄御定之 御進物之帳			濟候ニ付此度 御参詣 不被遊候儀ニ付御届書并 大橋孫左衛門書付共	
元禄二年			一 右京亮様御妹姫様	沓冊
一 御献上調			御離縁御届書	
正徳二年			一 五月十九日御用番土井 大炊頭様方御聞役被 召呼櫛引昇罷出候処 御用人を以被成御渡候 御附札濟御離縁御 願書	沓冊
一 公義御代替御祝儀 之献上物之義并御礼 付之儀共御書付			一 土佐守様御忌中濟 御届書	沓冊
享保十六年			一體孝院様御実母之 御服忌	沓冊
一 御隠居之御礼御家 督之御礼之節御献 上物御伺書并年中 献上御伺書共			一 上仙院様被為受候義并 御統之儀共御伺書	沓冊
文化五年			一 打統御損毛ニ付来西 年方亥年迄三ヶ年 御節儉御届書写	沓冊
一 公義衆江御贈物并 御往来之節御扱向 一件			明暦元年	
文政十年			一 上方江御登せ御城米 之覚書	沓冊
一年中定例御献上調			宝永六年	
同十二年			一 松平越前守様江御	
一 公辺諸御礼順				
と 印				
一 屋形様日光山御宮江				
正徳二年 御参詣相				

縁組之

妙心院様御妹姫様

御逝去ニ付御服忌御

届書并御続之覚共

正徳元年

一 御勝手向御差支ニ付

御老中様江御断之

書付

享保四年

一 打物鍛冶森宗国友

国廣之義御尋ニ付

御届書写

宝曆三年

一 御領分江江戸表江御

廻米之義御届書

宝曆八年

一 本所御蔵前廻組合

廻場之内菓壳罷出候

腰懸等差出候義ニ付

御届書

天明四年

一 屋形様御逝去御届

書写并御服忌御届

書写共

同年

式通

老通

老通

老通

老通

一 当辰年江申年迄五ヶ

年格外御儉約之

義ニ付御届書

天明八年

一 土佐守様御妹那須

與一様御奥様御死

去ニ付御服忌御届書

之写

同年

一 松平出羽守様御母公様

御死去ニ付御届書

寛政元年

一 鉛之義ニ付久世丹後守

様江御聞役差出候御

書付之趣

但 鉛御買上之義

同三年

一 屋形様御逝去御届書

寛政三年

一 和三郎様御忌服之儀

被為蒙仰候御書付并

本所ニツ目御居屋敷江

御引移之義御届書共

同四年

一 冊米被遊候儀尔付

式通

老通

老通

老冊

老冊

老通

老通

若殿様与一様御金 御拝借帳			
元禄九年			
一猿楽米代金銀納手 形写		壹通	
一亥年御支配所御取 納米御免之書付写		壹通	
元禄十年			
一御支配所子年御物 成金御受取御証 文写		壹通	
元禄十一年			
一御公義江御上納金 之写		壹冊	
宝曆六年			
一公義方御払米御願 之御書付并一色周防守 様方被成御渡候右 御割合書付共		七通	
明和三年			
一御国元当正月地震 尔付御拝借御願之上 被仰付御金御請取		五通	
証文写并右御願書共 同年			
一当正月地震二付御拝借 金御願二付御老中様 より御渡書付			貳通
明和三年			
一御拝借金御国元江 被差下候二付御用留并 右到着之覚帳共			貳冊
天明三年			
一御取納皆無二付御拝 借金御願書			壹通
同四年			
一御拝借金被為蒙仰候 御書付之写			壹通
同五年			
一御拝借金御上納御 取延御願書之写			壹通
一御貸附金年賦御願 御書取			壹冊
右二付御用状			壹通
り印			
一江戸於柳嶋鉄砲稽 古御伺書			壹通
一大川端御抱屋敷を 御拝領屋敷二被成			四通

右二不及儀共

明和二年

一当四月十七日東照宮御

神忌二付

屋形様御参勤之節

御社参可被遊哉之儀

御問合之一件

天明四年

一御家督御願書写

同年

一御参勤御時節之処

御持病二付当冬中迄并

来四月 御参勤御時

節迄御滞府御願書共

文化九年

一江戸於御屋鋪火之

見槽鳴物太鼓御用二付

御伺書并御書取御聞

役御内意申出書付共

但 右之内腰綱代并打

上金紋御挟箱杯等

も相用候義有之

同年

一当 御参府御道中

人馬繼之儀御聞役

壹冊

貳通

六通

壹通

名前二而道中御懸柳生

主膳正殿江差出候処

御呼出被成御渡候御

附札濟伺書

同十二年

一是迄十月 御参勤之

処九月 御参勤被

仰出候二付御時節御比

合之義御附札濟御

伺書之写

文政十二年

一南部家参勤之儀二付

内願書之写并

御参勤之義二付御伺

書之写共

ぬ 印

元禄二年

一從 御公義鉄砲御

改二付御領分中相

改候証文留帳并鉄砲

改帳共

外二 鉄砲御改御書付并

改証文 拾壹結

壹冊

貳冊

五冊

る 印

近衛様 醍醐様

一 御国不作ニ付御合力

三通

御断之義 近衛様

醍醐様御家司中并

村上将曹御藏元両

家江之書状共

一 近衛様御助力金之

三通

儀尔付

宝永二年

一 近衛大納言様就御

壹通

婚礼従

若殿様御祝儀被進

物之覚

同六年

一 近衛左大将様御参向

壹冊

尔付被進物并従

近衛様 屋形様江被

進物書付

宝永六年

一 近衛関白様撰政宣下

式通

尔付被進物書付并

御台様江被献物書

付共 右七通袋入

正徳三年

一 近衛前撰政様就

壹冊

御参向御音物帳

同六年

一 若殿様御婚礼相濟

五冊

近衛三御所様

醍醐大納言様江御使者

御進物覚帳

正徳六年

一 若殿様御婚礼相濟候

式冊

為御祝儀於京都

近衛三御所様

醍醐大納言様江御使者

相勤候覚并御返答

書共

〔二番ほ印江移し〕

一 近衛様御姫様御縁

壹冊

談懸合向相濟候儀覚

右御縁組之義ニ付御書付 壹通

明和四年

一 近衛様方御預金御返

式拾通

納方ニ付書付并津軽屋

三右衛門江演説之写大坂

御屋敷御留守居書付

御借財向書付共〔但袋入〕

文化十年

一 近衛様姫君様御逝

式冊

去二付為御悔京都表江

御使者被仰付候御

用留并京都御用仮留共

右二付御口上書并書付共

四通

從文化十二年至文政六年

一 東照宮式百回御忌

五冊

御法会二付

近衛様御下向一件

文化十二年

一 近衛様被為人候一件

壹冊

嘉永二年

一 近衛様方是迄

壹冊

御系譜御猶子与御

書立之処以来御庶子

与御改被仰出候一件

安政元年

一 山田登上京之処

五通

近衛様御所御近火

之節骨折取防御酒

御肴御意与被下置候

申渡書并目錄太田

権大夫方御達書共

を印

但御藏并御檢見御条目者

勘定奉行江入

一 御条目

壹通

但し 前後無之

寛文元年方延宝二年迄

一 御条目

壹冊

寛文五年方延宝五年迄

一 縁組前髪袖留之儀二付

壹通

被仰出

寛文二年

一家訓条々

壹冊

同三年方貞享三年迄

一家訓条々他適之節

壹冊

火事有之時之覚并御

供役勤候者二申渡之覚

御定書喧嘩取扱之覚

下々支配人頭々二而申

付候覚御覚書共

寛文四年方同五年迄

一 万定書

壹冊

同四年方延宝五年迄

一 所々御札之扣

壹冊

延宝五年

〔史料紹介〕 弘前藩庁における文書管理帳簿の紹介と翻刻（その1）（山田）

一 札之扣	老冊	一 御札定写	老冊
同九年		同年	
一 御領内所々御札之 案文留帳	老冊	一 在々御札写候帳	老冊
同年		同年	
一 碇ヶ関御札写之表	老冊	一 村々所々御札表写之帳	老冊
同年		同年	
一 御札之書上帳	老冊	一 御札立所	老冊
同年		但 日記ニ書落候付而此通 書扣可申旨与有之	
一 御派御札表書上之帳	老冊	天和二年	
延宝九年		一 御高札之留帳	老冊
一 諸派御札之写	老冊	延享四年	
同年		一 深浦町御制札并浦 高札共二五枚之写	老冊
一 在々御派御札之表 書上之帳	老冊	延宝九年方天和二年迄	
同年		一 御制札下書	拾式通
一 諸派御札之写書上 之帳	老冊	一 御制札場所取調申 出書付	式拾九通
同年		一 弘前在町浦々御高札 場所之覚	老冊
一 御派御札之表	老冊	一 弘前在町浦々御高札 場所并御役人之覚	老冊
同年		文化六年	
一 御札之表写帳	老冊	一 油川後潟蟹田人馬 賃銭高札案文并	四通
延宝九年			

- | | |
|---------------|----|
| 御聞役申出書付共 | |
| 文化六年 | |
| 一 浦々人馬賃錢高札 | 六通 |
| 案文 | |
| 万治三年寛文四年 | |
| 一 諸役所江書付二而申 | 老冊 |
| 渡覚 | |
| 寛文五年同六年迄 | |
| 一 御役付ケ条書 | 老冊 |
| 同五年 | |
| 一 諸役場江ケ条書二而 | 老冊 |
| 申渡覚 | |
| 同六年 | |
| 一 諸役人江ケ条書二而申 | 老冊 |
| 渡覚帳 | |
| 寛文七年 | |
| 一 諸役人江ケ条書二而 | 老冊 |
| 申渡帳 | |
| 同年 | |
| 一 被仰出覚帳并得御 | 老冊 |
| 意相濟覚共 | |
| 同八年 | |
| 一 諸役人江書付二而申渡 | 老冊 |
| 留帳并申渡覚共 | |
| 同九年 | |
| 一 諸役人江ケ条二而申渡 | 老冊 |
| 留帳 | |
| 寛文九年 | |
| 一 被仰出并得御意申 | 老冊 |
| 渡覚 | |
| 同十年 | |
| 一 諸役人江書付二而申渡帳 | 老冊 |
| 同十一年同十二年 | |
| 一 諸役人江ケ條二而申渡帳 | 老冊 |
| 同十二年 | |
| 一 於江戸諸役人江申渡帳 | 老冊 |
| 同十三年 | |
| 一 諸役人江書付二而申渡覚 | 老冊 |
| 延宝二年同三年 | |
| 一 右同 | 三冊 |
| 但 延宝二年報恩寺江も | |
| 訴状之裏書二而申 | |
| 渡ケ条書も有之 | |
| 延宝三年 | |
| 一 諸事被仰付候御用 | 老冊 |
| 覚書 | |
| 同四年 | |
| 一 上方并在浦々諸役人江 | 老冊 |
| 申渡御定書 | |
| 同五年同六年 | |

- 一 諸役人江書付二而申渡扣 式冊
- 同六年同七年
- 一 諸役人江ヶ條書二而申渡控帳 式冊
- 同八年
- 一 諸事御條目被仰出 式冊
- 留書之帳
- 天和二年
- 一 御本城於御国元被仰出扣帳 式冊
- わ印
- 延宝三年
- 一 諸法度 式冊
- 同年
- 一 御発駕前諸御定書写 式冊
- 延宝五年乃宝曆十一年迄
- 一 御留守中御条目写并控共 拾式冊
- 但 延宝五年 御留守中御条目之内ニ御発駕御規式御条目も有之
- 延宝五年
- 一 御在国之節御門御 式冊
- 定并諸役人江書付二而申渡帳
- 同七年天和三年 大組御足輕頭
- 一 御定書（道中江戸御門番辻番） 式冊
- 延宝九年 御持御足輕頭
- 一 御定書（道中江戸御門番辻番） 式冊
- 同七年天和三年 並御足輕頭
- 一 右同 式冊
- 延宝九年 御小姓頭
- 一 御定書（道中江戸服忌令御供） 式冊
- 天和三年 御中小姓頭
- 一 右同 式冊
- 天和三年 御歩行頭
- 一 御定書（道中江戸服忌令御供） 式冊
- 延宝八年天和二年
- 一 江戸御武頭江可申渡 式冊
- 御定法三ヶ所之御屋敷辻番之御作法覚書
- 天和二年同三年
- 一 御條目 式冊
- 一 御留守中月番之御家老御用人勤方 式冊
- 延宝八年
- 一 江戸御留守役付勤方之覚 式冊

一 御国元江御発駕前 被仰渡品々之覚 同年	老冊	一 御発駕以後出火之節 御定書 天明四年	四冊
一 御留守中御広間御 番中江被仰渡覚 天和二年	老冊	一 江戸三御屋敷御門 出入御定書	老冊
一 御留守中支配付并住 所之覚 同年	老冊	一 江戸御屋敷ニ而御取次江 被仰渡候御定書	式冊
一 評定所定 貞享元年	老冊	一 諸士詰所并私用有之節 家来召寄候御定書	老冊
一 御城江相詰候面々御 茶并湯被下候場所 之覚 同二年	老冊	一 御城江日参之役人 勤方之儀ニ付	老通
一 従 御参勤之節江戸 御上屋敷諸番勤方覚 同四年	老冊	か 印 一 近年御勝手向御差 支ニ付諸席減省申 出候様并在方風儀不宜 取直之儀共御書付	三通
一 御閉門中御定目覚 元禄十年方明和四年迄	老冊	一 諸事御減省之儀ニ付 一 御儉約ニ付諸役方御益 方を相并取扱候様并 御家中在町衣服之 儀ニ付御書付	老通
一 御留守中勤番之覚 元文二年方明和四年迄	拾冊	一 御儉約ニ付諸事被 仰出御書付	老通
一 御留守中昼廻夜廻 之覚 宝暦九年方明和四年迄	五冊	一 御儉約之儀ニ付表方江	老通

- | | | |
|-----------------------------------|--|----|
| 元禄五年 | | |
| 一 御家中勝手減少可仕儀被仰出御書付 | | 壹通 |
| 同六年 | | |
| 一 不作二付面々粥并粮物給せ候様御書付 | | 壹通 |
| 同八年 | | |
| 一 不作太分二付従公義御救米被仰付 | | 壹通 |
| 糧相用御郡内御救之義二付 御意之御書付 | | |
| 一 御国江戸御家中御借米之内当暮方半分通 御免被仰付 | | 壹通 |
| 尤在町之義者当分御行届難被成二付近年中御用捨之御沙汰可被加旨御書付 | | |
| 元禄十四年 | | |
| 一 諸音物并配当之儀被仰出候覚書 | | 式通 |
| 同十五年 | | |
| 一 不作二付諸事儉約并粥粮等給候而不苦候旨 | | 壹通 |
| 被仰出御書付 | | |
| 宝永五年 | | |
| 一 諸事節儉可相守御意之趣御書付 | | 壹通 |
| 同五年 | | |
| 一 御勝手向御不如意候へ共御家中江御米十五俵ツ、被下置候御書付 | | 壹通 |
| 享保十二年 | | |
| 一 御奉公人跡式嗣統之儀被仰渡候書付 | | 壹通 |
| 延享四年 | | |
| 一 御儉約二付去月九日於江戸表御家中江相渡候書付 | | 壹冊 |
| 明和四年 | | |
| 一 御儉約二付七ヶ年之内御側向并御医者江着服之義被仰付候書付 | | 式通 |
| 同五年 | | |
| 一 御儉約二付被仰出候御書付并御触之書拔 | | 壹冊 |
| 安永四年 | | |
| 一 於江戸表一役耆人江御渡被成候御儉約被 | | 式通 |

仰出候御書付并稠敷
被仰付候二付

上々様御合力御寺江
御仏供料御出入方江
被下方御断別紙共

安永七年

一 御儉約之儀二付弥減
省致候様一役忝人江

御家老中被仰渡候
御書付之写

一 御幼年被成御座候
尔付御家老中江被

仰渡御書付

一 当 御代御仕置之義
万事 御代々之通

被仰付候御書付
享保十六年

一 当 御代御仕置之儀
万事 御隠居様御

家督之節被仰出候通
相心得候様御書付

寛政三年

一 当 御代御仕置之儀
万事 御代々之通与

被仰出候御書付

よ 印

一 寧親公御家督御相
続被遊候二付諸事

御先代様之御格式

相守何れも忠勤候様

御自筆之写

天保十年

一 順承公於江戸表
御家督御相続被遊

候二付御先規相守諸
事節儉一統和合忠

勤致候様御自筆之写

一 君臣道を不失様御
さとし被遊候御自

筆之写
一 此度之 御着城者格
別之義故以下之者何

れも御通筋妨二不
成所江罷出候様御自

筆之写
一 御留守中何れも出精

相勤候様御自筆之写

一 御勝手向御差問

御身之上者如何様二茂

三通

壹通

式通

壹通

三通

壹通

合之儀共

右ニ付御書付并御口達共 式通

天保四年

一当不熟作ニ付定府四 式通

合扶持渡之義ニ付御自

筆之写并御口達共

文政八年

一御広敷附添下江御渡 式通

御口達

同九年

一武芸御口達 式冊

一御道中方之御自筆 四通

之写拝見被仰付候ニ付

御家老中方之添状

腰卷付

文久三年

一御上京 御免ニ付雪中 式通

御下向御家中武備相励候様

御口達

た 印

延宝三年

一八十三騎江 御黒印 式冊

被下候帳

貞享二年

一信政公御代百石以下 式冊

御知行 御印差上候

或御国ニ而差上又者未

頂戴不仕候帳

貞享二年

一御知行 御印頂戴 式冊

不仕又者御国ニ而差上

申断帳

同年

一御知行 御印受 式冊

取帳

正徳二年

一御先代様古 御印 式冊

御書出共所持之面々

改帳

正徳二年

一御家中知行御書出 式冊

頂戴之人別帳

右ニ付書付 式通

同年

一御書出被下候御座席 式冊

附之覚

同年

一御書出頂戴之面々 式冊

改帳

[史料紹介] 弘前藩庁における文書管理帳簿の紹介と翻刻 (その1) (山田)

一 御書出頂戴無之人別帳 同年	老冊	人別覚 同十五年	老冊
一 御書出頂戴無之面々改帳 正徳三年	式冊	一 御知行 御書出被下候面々 同年	老冊
一 御郡中寺社方御黒印写改帳 同年	老冊	一 御知行 御書被下候面々 享保十五年	老冊
一 御黒印写改帳 同年	老冊	一 御知行目録被下候面々 同年	老冊
一 寺社方 御印無之分覚帳 同年	老冊	一 与力知領地目録被下候面々 同十六年	老冊
一 御書出頂戴之面々 御座敷附之覚 同年	老冊	一 知行目録被下候面々 同年	老冊
一 寺社方知行目録頂戴 御座敷附之覚 正徳三年	老冊	一 此度被下置候御知行目録人別帳 同年	老冊
一 寺社方 御書出頂戴 御座敷附之覚 享保十一年	老冊	一 此度被下置候与力知目録員数 享保十六年	老冊
一 寺社領 御書出被下候	老冊	一 給地郷村書出帳 元文元年	老冊
		一 御家中知行高人	七冊

別帳
 同年
 一惣与力知行高人別帳
 同年
 一知行御書出被下候
 人別帳
 同年
 一惣与力領地目録被下
 候人別覚
 同年
 一新知御加増并現米方
 地方成分知或高減候
 人別覚
 元文元年
 一新田御檢地之節村々
 入高二相成候分郷村帳江
 書人調帳
 同年
 一三組頭人別帳并与与力
 知行高人別帳共
 同年
 一御黒印并御知行目
 録写相改候人別覚
 同年
 一寺社方 御黒印并

老冊
 老冊

御知行目録写相改
 候人別覚
 元文元年
 一給地郷村書出帳
 同年
 一御手廻御小姓組御馬
 廻給地郷村書出帳
 同年
 一惣与力給地郷村書
 出帳
 同年
 一新知并御加増給地
 郷村書出帳
 元文元年
 一寺社方郷村書出帳
 同二年
 一知行 御書出被下候
 人別覚
 同年
 一御城代方御長柄奉行
 迄知行 御書出被下
 候人別帳
 但 御手廻御番頭并御手廻
 御馬廻御番頭御馬廻共
 同年

三冊
 老冊
 老冊

一 御手廻番頭〆御馬廻迄 人別一列書 元文二年	式冊	一 敷附之覚 同年	
一 惣与力知行高人別帳 同年	壹冊	一 寺社方知行目録頂戴 御座敷附之覚 同年	式冊
一 江戸勝手御知行 御書出頂戴不仕面々 同年	壹冊	一 御書出被下候御座 席附之覚 元文二年	式冊
一 御知行 御書出頂戴 不仕面々書上写扣 同年	壹冊	一 寺社方 御書出被下候 御座席附之覚 同年	式冊
一 給地郷村書出帳 同年	壹冊	一 知行目録被下候二付 剪紙扣 外二 切紙扣 同年	壹冊
一 此度一統 御黒印被 下候人別知行付覚 同年	壹冊	一 御家中知行目録調 方諸事御用留 同年	壹冊
一 給地郷村御点羽答書 元文二年	四冊	一 御書出被下候義尔付 訳書 れ印	壹冊
一 寺社方郷村御点羽 答書 同年	壹冊		
一 御書出被下候御座敷 附并人別書共 同年	式冊	一 宝曆六年 御書出被下置候人 別帳	壹冊
一 知行目録頂戴御座	三冊		

同年	一 知行 御書出被下置候 人別并御座敷附共 宝曆六年	三冊	頂戴相済御札之覚 同年	一 御書出頂戴相済御 札之覚	壹冊
同年	一 右剪紙扣 右二付書付 式通 寛政六年	壹冊	同年	一 於山吹之間山水之間 梅之間 御書出頂 戴之面々	壹冊
御用留	一 知行 御書出被下置候	三冊	寛政六年	一 於山水之間梅之間 御書出頂戴之面々	壹冊
同年	右二付書付 式通		同年	一 於 御書院寺社方 御書出頂戴之面々	壹冊
同年	一 御書出御用留書拔	壹冊	同年	一 御書出被下候御座敷 図式	五枚
紙扣	一 御書出被下候二付御剪	壹冊	文政八年	一 御書出御用留	壹冊
同年	紙御座敷附御規式并 御札等之事		文政八年	一 御書出御觸出調并 御書出頂戴剪紙	貳冊
寛政六年	寛政六年		扣共	同年	
同年	一 御書出被下置候三ヶ日 御座敷附御規式帳	壹冊	一 高岡御神領御献備		拾冊
御座敷附御規式并	御座敷附御規式并				
御座敷附御規式并	御座敷附御規式并				

安政六年

一 御書出御用留

貳冊

同年

一 御書出御触出調并

貳冊

御書出頂戴剪紙

扣共

安政六年

一 高岡御神領御献備

五冊

調并 御書出頂戴

御規式帳共

右二付諸書付 三通

同年

一 御書出被下置候人

三冊

別帳

内

一 山吹山水梅之間同御次人別帳 貳冊

一 御書院二而寺社方人別帳 壹冊

外二 諸書付并御沙汰書共 貳拾七通

万延元年

一 大坂役人村上長次郎方

壹冊

頭休院様御代御書

出元文元年頂戴仕候

後知行御加増被下

置候分并御減被

仰付候儀共書上覚

つ 印

一 知行帳

三冊

寛文元年

一 知行 御印扣之帳

壹冊

同年

一 知行 御印扣書出

壹冊

之帳

寛文元年

一 知行 御印扣御本

壹冊

参衆

但 八十三騎共

同年

一 知行 御印扣御手

五冊

廻衆

同年

一 知行 御印扣新地

五冊

御馬廻

一 知行 御印扣御鷹

壹冊

師帳

寛文元年

一 知行 御印扣御鉄

壹冊

炮打之帳

但 所々御横目小細工共

但 新地組与有之

延宝六年

一御組中知行高并年

組分之帳

但 本参組与有之

同年

一知行高并年書上之帳

但 新地組与有之

同年

一御組中名苗字書付

之帳

但 本参組与有之

同七年

一知行御扶持切米并

年書付帳

延宝九年

一御用人支配 御目見

仕候分知行高扶持

切米名乗帳

同年

一表坊主方大間越御関

所御足輕迄知行御扶

持切米帳

同年

一新地小知行取立帳

壹冊

八冊

貳冊

壹冊

壹冊

壹冊

壹冊

ね 印

元禄十一年

一御知行古印紙

渡帳

九冊

な 印

慶長十四年 元和七年

寛永九年 同十一年

寛文元年

一左比内村之又次郎江

高源院様方

妙心院様迄之御印

但 文政七年

赤石久左衛門乱心之

節物頭并警固共方

差上候書付共 拾貳通

慶長十四年寛文元年

一はく屋宗兵衛江

高源院様江御印并奈良

勘右衛門八重館村源右衛門江

妙心院様御印共

但 青森新町源次郎方

差上候二付町奉行町

年寄方之添書共 三通

三通

五通

寛永二十一年寛文元年

一長内次兵衛江 式通

桂光院様 妙心院様

御印

但 天明五年施行方取

扱勘定人方差出候

長内次兵衛所持之

御印也

寛文元年

一妙心院様方被下置候 七通

知行 御印

内 原別村兵作 老通

種里村助三郎 老通

懸落林村太郎左衛門 老通

六枚橋村彦左衛門 老通

中里村與助 老通

新屋村長右衛門 老通

薦槌村長助 老通

一御印渋紙包封印有

但 天保六年須藤半兵衛殿

より御預被仰付候

一知行之目録 六拾五通

【史料2・2 整理番号 2009H-2】

〔表紙〕

〔朱書〕

「此巻冊三之丸江」

二番題帳

潰

〔表紙裏〕

〔朱書・文字全体朱で〕

「△三之丸」

〔内題〕

「二番題帳」

〔小口書〕

「式番題帳」

（以下右傍線は朱書）

い 印

一諸大名衆火之元用心并

長刀持鎧駕籠外用

来候諸道具書出候様

公義御書付之写

一今大路道三様御親類

書二有之面々御尋之書

付之写

但 本紙者江戸江差登候

老通

老通

貞享三年元禄二年

一御遠慮 御免被為蒙

老冊

仰候段申来候節之御日

記書拔

但 文政十年取調帳

貞享四年

一御閉門之儀ニ付御日記書

老冊

拔

但 御見競御用相済ケ条之

分者取調不申候

一文政十年取調帳也

貞享四年

一御閉門之内久世出雲守

老冊

様江御窺之覚

同年

一日光御門主方

老冊

高殿院様桂昌院様

御服忌御尋之儀

一御家御書付之内御旧

老冊

記書拔申上候

與一様一件御取扱并御

差扣御屋敷替等之儀

書拔

文政十年

一御逼塞御免之儀

老冊

御飛脚到着之節被

仰付向草案

元禄九年

一浜手御屋敷御書上被成候

三通

書付図共

外 勝本藤左衛門方書付老通

正徳四年

一久世大和守様同隠岐守様

老冊

初而御出ニ付諸事覚帳

但 御姫様隠岐守様江御婚

礼ニ付御結納相済以後初而

御父子様御出被遊候御

事也

享保二年

一御上屋敷江就御移徙

式冊

伺并

若殿様御上屋敷江被為

入候ニ付伺書共

同十二年

一若殿様方 勝手代様江

式通

御実名被進候御書付

同十四年

一此以後 御部屋様之

老通

儀御家老初様付可致義

五節句并月並御礼共

〔天部朱書〕

御家老御用人御広敷江

可罷出義二付御書付

元文三年

一本多左門様上屋敷御

預之儀二付諸書付

九通

外 右上屋敷絵図 壹枚

同四年方宝曆十三年迄

一岩松様 平三郎様

壹冊

熊五郎様端午御節

付書取

宝曆十三年

一上々様方

壹冊

屋形様江被差上物其外

高岡并寺社方江被献物

取扱之覚

寛政三年

一和三郎様 此方様江

式通

御養子御願之通御家

督被下置黒石之儀者

和三郎様御惣領吉之助様江

四千石相統被仰渡并御

切紙共

文化初年

一於江戸表取調候扣帳之

壹冊

内 御拝領御時服之

類書抜

但 弘化四年取調差登候扣

同八年

一瑤池院様大川端御屋

式冊

敷江御移徙之一件并大

川端御殿江御移徙二付

御入用大部調共

文化十年

一安藤新次郎様衆江五節句

壹通

八朔年頭御祝儀寒暑

御見舞之儀御申合之覚

一欽姫様江御奉文

拾通

文政十年

一欽姫様御登 城一件

壹冊

同年

一欽姫様御登 城二付御

壹冊

献上物并御贈物覚

文政十年

一欽姫様御登 城之節

壹冊

御拝領之御品之覚

同年

一欽姫様御登 城之節

壹冊

於 御城御供之面々被

下方覚

同十一年

一 欽姫様 御拝領物調

老冊

同年

一 大川端御屋敷御相

式冊

対替

天明四年

一 御遺物被下帳

老冊

安政三年

一 有孝院様御遺物被

老冊

下方一件

同年

一 御遺物被下方之面々

老冊

同年

一 御遺物被下方御当日

老冊

一件

ろ 印

元禄五年

一 北之御丸御長持二入候

三冊

御道具帳

同年

一 北之御丸御奥御物置二

老冊

入候御道具帳

元禄五年

一 北之御丸御筆筒二入候

老冊

御道具帳

同年

一 北之御丸御道具改二付

式冊

覚并御道具之覚共

文化三年

一 金地六枚折同式枚折

老冊

御屏風帳

同十年

一 御召物帳并御次通御

式冊

道具帳共

同年

一 御道具帳

三冊

文化十年

一 上り藤御紋 御簪様

老冊

御道具帳

は 印

但近来御誕生向者

御広敷帳二有之

慶応四年

一 御誕生様御名

老通 (後筆力)

一 御出生様御名書

式通

享保七年 同九年迄

一 勝之助様御誕生御

三冊

用留

元文四年

一 岩松様御誕生前後 御用書拔	老冊	一 用留 安政三年	
但 内々御宮參御用留茂 有之		一 寛五郎様今度御養 子之儀御治定二付	老冊 (傍線朱書消) (天部朱書) 一△
同年		方々様江御相統向一件	
一 若子様御誕生御祝儀 御規式帳	老冊	同年	
寛文十一年		一 細川様方御婿養子二付	式冊 (天部朱書) 一△
一 於江戸 若殿様御 髮置御祝儀賞帳	老冊	御同所様御内葉室新助江 小川六左衛門罷出問合書	
寛政十二年		右二付内状老通	
一 お共様御髮置二付 御用懸留帳	老冊	同年	
宝曆十四年		一 寛五郎様御躰養子 之儀二付細川越中守様御 治定御使者為御取交	老冊 (天部朱書) 一△
一 熊五郎様御宮參御 帳	老冊	一件	
一 武之助様御統取調御 目付申出書	四通	安政四年	
天保十四年方弘化三年迄		一 寛五郎様御躰養子	式冊 (天部朱書) 一△
一 思召被為有御取次以上以来	式冊	御願濟一件并御躰養 子御願書御進達一件共	
武之助様江殿付其外諸 事御用留并二之丸御住 居江御移徙一件共		同年	
弘化二年		一 若殿様御引移御日限 より前日迄之一件并御引 移御当日一件共	式冊 (天部朱書) 一△
一 武之助様御宮參二付御	老冊	安政四年方同五年迄	
		一 松五郎様 御目見御用	老冊

留書

一 雅之助 御目見之儀二付

式通

御奉書并御請之写共

嘉永五年

一 若殿様来春

巻冊

御目見御願引続五節句

月次御出仕茂御願二付

方々様江御相談一件

安政四年

一 若殿様当十一月中

巻冊

御目見御願引続五節句

月次御出仕茂御願二付

方々様江御相談一件

嘉永五年

一 若殿様来春

巻冊

御目見御願引続五節句

御月次御出仕茂御願二付

御出入坊主被召呼候一件

安政四年

一 若殿様当十一月中

巻冊

御目見御願引続五節句

御月次御出仕茂御願二付

御出入御坊主被召呼候一件

嘉永六年

一 若殿様 御目見二付

巻冊

柳之間御同席御招之

御方々様并其外方々様江

殿中向御頼一件

安政四年

一 若殿様 御目見二付

巻冊

柳之間御同席之御方々

様江殿中向御頼一件

嘉永六年

一 若殿様為御出初深川

巻冊

八幡宮江御参詣一件

安政四年

一 若殿様深川

巻冊

八幡宮江御社参一件

嘉永六年

一 若殿様 御目見前

巻冊

御先手衆御招一件

安政四年

一 若殿様 御目見前

巻冊

御先手衆御招一件

嘉永六年

一 若殿様 御目見二付

巻冊

御引受御頼之御方様

御招一件

安政四年

一 若殿様 御目見二付

巻冊

(天部朱書)
「△」

(天部朱書)
「△」

(天部朱書)
「△」

重御頼中川修理大夫様
毛利淡路守様御招一件
嘉永六年

巻冊

一若殿様 御目見前
御老中様方江御逢一件
安政四年

巻冊

一若殿様 御目見前
御老中様方江御逢一件
嘉永六年

巻冊

一若殿様 御目見前
御奏者番様御招一件
安政四年

巻冊

一若殿様 御目見前
御奏者番様御招一件
嘉永六年

巻冊

一若殿様 御目見御願
書御進達方御奉書
御到来迄之一件
安政四年

巻冊

一若殿様 御目見御願
書御進達方御奉書
御到来迄之一件
嘉永六年

巻冊

一若殿様 御目見御
当日一件

巻冊

安政四年

一若殿様 御目見御
当日一件

巻冊

嘉永六年

一若殿様 御目見二付
御献上并被進方被下
方一件
安政四年

巻冊

安政四年

一若殿様 御目見二付
御献上并被進方被下
方一件

巻冊

に印

一若殿様御月次御願
一件

巻冊

嘉永六年

一若殿様五節句月次御
出仕御願書御進達方
御願済迄之一件
安政四年

巻冊

安政四年

一若殿様五節句月次御
出仕御願書御進達方
御願済迄之一件
嘉永六年

巻冊

嘉永六年

一若殿様五節句初而御

巻冊

登 城一件

安政四年

一若殿様月次初而御登

城一件

一若殿様 御袖留御

祝儀帳并御袖留前日

御用之覚共

安永六年

一若殿様 御袖留二付御

用留并御月次御出仕

被為濟候御用留

嘉永六年

一若殿様 御袖留御前

髮執御相談并御袖留

御伺書御進達方御伺

濟迄之一件

同年

一若殿様御留袖一件

元禄元年

一若殿様御前髮執之

諸色覚帳但與市様御

袖留御祝書入共

嘉永六年

一若殿様御前髮執御

沓冊

〔天部朱書〕
〔△〕

式冊

沓冊

〔天部朱書〕
〔△〕

迄之一件

同年

一若殿様御前髮執一件

一玄圭院様御代御高直

御内意書

文化二年

一御昇進御高直御札

濟帳

文化二年

一御用番土井大炊守様

御伺之处御附札を以

御差図相濟候写并御

用状書拔共

但 七万石御高直二付御席

順御伺書之写也

同五年

一御高直拾万石高四品被

為蒙仰候被仰渡書并

御祝被下方諸色代料

付共

但 外南の家御高直被仰

渡書 沓通

文政七年

一若殿様四品被遊

御昇進候二付一件調帳

沓冊

沓通

沓冊

式通

三通

沓冊

- | | | |
|-------------------------|----|-------------|
| 同八年 | | 一件 |
| 一 右同 | | |
| 同年 | | ほ 印 |
| 一 若殿様四品被遊 | | 一 御姫様京都御縁組 |
| 御昇進候ニ付右御礼之 | | 之儀ニ付御内状共 |
| 節献上物并被遣方被下方 | | 享保十四年 |
| 之一件 | | 一 御姉姫様江従保科 |
| 天保方弘化迄 | | 彈正忠様御結納御祝 |
| 一 御昇進手順書取 | 四冊 | 儀就被遣候御規式帳 |
| 外ニ | | 元禄四年 |
| 御昇進申来之処ニ而仕 | | 一 信重公御婚礼一卷 |
| 向手順調卷通結置 | | 写 |
| 嘉永六年 | | 宝永六年 |
| 一 若殿様 御叙爵一件 | 壹冊 | 一 堀大和守様江御姫様 |
| 安政四年 | | 御婚礼之格并御附人 |
| 一 右同 | 壹冊 | 之格共 |
| 嘉永六年 | | 正徳五年方同六年迄 |
| 一 若殿様 御官位之御礼 | 壹冊 | 一 若殿様江綱姫君様 |
| 被仰上候一件 | | 就御婚礼於京都御 |
| 安政四年 | | 使者御返答并諸事 |
| 一 右同 | 壹冊 | 窺之覚 |
| 嘉永六〔七〕年 ^{〔朱書〕} | | 正徳六年 |
| 一 若殿様 口宣御頂戴 | 壹冊 | 一 若殿様御婚礼一卷 |
| 一件 | | 同年 |
| 安政五年 | | 一 姫君様御着輿御婚 |
| 一 若殿様 口宣御頂戴 | 壹冊 | |

- | | | | |
|------------------|----|-------------|----|
| 寛政三年 | | 死二付御届書之写 | |
| 一 和三様御家督御用 | 老冊 | 一 那須與市様御屋敷相 | 老通 |
| 留書 | | 対替之儀 | |
| 慶応三年方同四年迄 | | 元禄七年 | |
| 一 御婚禮二付京都御用留 | 老冊 | 一 與市様初而依御同道 | 老冊 |
| 明治二年 | | 御祝儀之御饗応帳 | |
| 一 御婚禮二付京都御用留 | 老冊 | 同十四年 | |
| 同年 | | 一 與市様 御目見被 | 老冊 |
| 一 御姫様御入輿二付御道中 | 老冊 | 仰上候為御祝儀御家中 | |
| 御用留 | | より之差上物之覚 | |
| 同年 | | 同十五年 | |
| 一 御入輿御道中御広間帳 | 老冊 | 一 與市様御知行被遊 | 老冊 |
| 同年 | | 御拝領候為御祝儀御 | |
| 一 御入輿二付千歳山方弘前迄 | 老冊 | 家中之之差上物之覚 | |
| 御行列帳 | | 宝永元年 | |
| 一 〈御殿方御讓信君様御道具類〉 | 老冊 | 一 與市様御移徙御祝 | 老冊 |
| 一 御道中御入用御道具類 | 老冊 | 差上物帳 | |
| 一 御待受御入用御道具類 | 老冊 | 宝永二年 | |
| 一 御召服并女中着服之覚 | 老冊 | 一 與市様御婚禮之節 | 老通 |
| 一年中御召服調 | 式冊 | 御家中之差上物之通 | |
| 一 御道具覚帳 | 老冊 | 御平産之節茂差上候様 | |
| | | 尔と申来候御書付 | |
| へ 印 | | 同五年 | |
| 一 但那須様諸事 | | 一 但那須豊丸様御袋様 | 式通 |
| 一 但那須與一様御妹御病 | 三通 | 御逝去二付豊丸様御 | |

忌遠慮覚并御統之覚

共

同年

一 與市様御葬礼覚帳

壹冊

嘉永五年

一 那須與市様津輕

七通

本次郎姉御養女

御伺濟之处御病氣二付

御出府難成御引取

御取延之儀二付御聞置

書御問合書御内状羽紙

共

明治二年御預

一 那須與一様御本領

壹冊

御安堵之御朱印頂

戴二付御届并御手続書

右二付高瀬治右衛門并細井

要人方之紙二通

と印

但黒石諸事

一 三十郎様御持高四千石江

四通

此方様方足石之上老万石

高並合為相勤度御願

書之写并右御願濟二付

御剪紙御請被仰渡

書共

一 宿駅所江御手当被下

壹通

候二付津輕三十郎より

御礼書

一 就 御入部黒石より

壹冊

使者參候覚

一 甲斐守様御飯養子

壹冊

黒石表二而病死之处同所

禪宗保福寺江葬送

致候儀二付報恩寺并葉王院

より宗旨違之旨黒石表

役人江懸合之趣并書通

留

壹冊

一 黒石領船道添御高札

相建候所々

一 黒石領夫喰米并在町

式冊

人別調

一 本次郎殿 出雲守殿

壹通

飯養子中出府不相成

之旨

公辺御問合御用状

一 本次郎駕養子之儀二付

三通

口達書并内状共

元禄三年

- | | |
|-------------------------------|----|
| 一 黒石二而津輕伊織様御知行御上地罷成 | 壹袋 |
| 此方様江御支配被 | |
| 仰出候二付右仕分一件 | |
| 諸帳面 | |
| 同十一年 | |
| 一 津輕采女代知 | 壹冊 |
| 津輕郡之内郷村高帳 | |
| 写 | |
| 外 右二付工藤嘉左衛門奈良岡市左衛門申出書付式通 | |
| 正徳四年 | |
| 一 津輕采女様江豊五郎様御着子一件 | 六通 |
| 享保十四年 | |
| 一 御上米之儀津輕采女様御内証分知二付御伺書 | 式通 |
| 水野和泉守様江差上候処被成御附紙御返被遊候御書付之写 | |
| 寛政四年 | |
| 一 御入部為御祝儀津輕吉之助殿使者参着登 | 壹冊 |
| 城被仰付候二付右御取扱向一件 | |
| 文化三年 | |
| 一 津輕三十郎家来江戸より津輕黒石迄差遣候尔付御関所通切手 | |
| 文化六年 | |
| 一 津輕三十郎殿参勤御暇之節献上物御伺書 | 壹通 |
| 文政八年 | |
| 一 御入部二付津輕甲斐守殿新之助殿使者取扱向調帳 | 壹冊 |
| 文政九年 | |
| 一 津輕左近将監殿江御一字被下置候一件 | 壹冊 |
| 天保五年 | |
| 一 平内在町人別調帳 | 壹冊 |
| 同十年 | |
| 一 御入部二付津輕斧勝殿并甲斐守殿使者取扱向調帳 | 壹冊 |
| 文久元年 | |
| 一 黒石表江山本喜美蔵御使者勤書 | 壹冊 |
| 但 十郎左衛門殿式壹百回忌 | |

御代香御使者也

ち印

一 隠居祝言名替初

老冊

御目見御礼帳

明暦二年の寛文五年迄

一 初 御目見之帳并名

式冊

替之帳共

明暦二年の寛文五年迄

一 繼目之帳并縁組之帳共

式冊

寛文六年の延宝六年迄

一 初 御目見繼目名替

老冊

縁組

右同

一 縁組之分

老冊

右同

一 繼目名替之分

老冊

延宝二年

一 御目見之次第

老冊

同年

一 繼目祝言初

老冊

御目見之帳

延宝六年

一 御家中惣嫡子初

老冊

御目見年本國生國之帳

同年

一 初 御目見年名本國

老冊

生國書付上申帳面扣

同年

一 御家中隠居之覚

老冊

正徳二年

一 御繼目之御礼御次第并

三冊

梅之間御次第寺社方

御次第共

享保十九年

一 御繼目御礼被為請候

老冊

御規式帳

享保十九年

一 御輿 御繼目之御

老冊

礼於江戸相濟候面々

同年

一 御繼目之御礼於江戸

老冊

相濟候面々

元文元年

一 御繼目之御礼御次第

式冊

同年

一 御繼目之御礼梅之間

式冊

御次第

同年

一 御繼目之御礼寺社方

老冊

〔史料紹介〕 弘前藩庁における文書管理帳簿の紹介と翻刻（その1）（山田）

御次第	元年	御次第	元年
一 御奥 御継目之御礼 相済不申面々	同年	一 御奥 御継目之御礼 相済不申面々	元年
一 御継目之御礼相済 不申面々	同年	一 御継目之御礼相済 不申面々	元年
一 当江戸詰故 御継目之御礼相済不 申面々	同年	一 当江戸詰故 御継目之御礼相済不 申面々	元年
一 御継目之御礼寺社方 相済不申面々	同年	一 御継目之御礼寺社方 相済不申面々	元年
一 於江戸 御継目之 御礼御次第帳	同六年	一 於江戸 御継目之 御礼御次第帳	元年
一 御継目二付御家中 御目見御規式	同年	一 御継目二付御家中 御目見御規式	元年
一 御継目之御礼御次第	同年	一 御継目之御礼御次第	元年
一 御継目之御礼寺社方 御次第	同年	一 御継目之御礼寺社方 御次第	元年
同年	同年	一 御継目之御礼梅之間 御次第	元年
一 御継目之御礼相済不 申面々	同十二年	一 御継目之御礼相済不 申面々	元年
一 初而 御目見并諸御 共	同十三年	一 初而 御目見并諸御 共	元年
一 右同	同十四年	一 右同	元年
一 初而 御目見帳	明和元年	一 初而 御目見帳	元年
一 初而 御目見并諸御 礼帳共	明和二年	一 初而 御目見并諸御 礼帳共	元年
一 初而 御目見并諸御 礼帳共	天明四年	一 初而 御目見并諸御 礼帳共	元年
一 御継目二付御家中 御目見御規式	同年	一 御継目二付御家中 御目見御規式	元年
一 元日之部九日之	同年	一 元日之部九日之	元年

部迄

御繼目御礼御次第

天保十年

一御繼目御礼御規式

但 安政六年点羽二而用

老冊

り 印

寛文九年

一平藏様御誕生御祝

老冊

儀之帳

天和二年

一今日御誕生日ニ付御祝

老冊

儀被下候帳

元禄八年

一大奥様御七夜為御祝

老冊

儀從御国元御使者被

遣候覚

享保四年

一勝千代様御誕生御七夜

老冊

御祝儀之覚

同七年

一勝之助様御出生ニ付從

老通

上々様御祝儀御遺物書付

正徳四年

一友之助様御色直御箸

老冊

初為御祝儀從

上々様御遺物書付

延宝二年

一主殿様御髮置御祝儀

覚

元禄十年

一磐麻呂様御髮置之

節御祝儀物帳

老冊

正徳四年

一御妹姫様御髮置御

祝儀御遺物帳

老冊

享保五年

一勝千代様御髮置為御

祝儀

老冊

上々様為御取替被下物書付

寛保三年

一平三郎様御髮置御

祝儀帳

老冊

享保八年

一勝千代様御袴着御祝儀帳

老冊

嘉永六年

一若殿様 御目見被

老冊

仰上候節被下方一件

安政四年

一右同

老冊

- | | | | | | |
|-----------|---|----|----------------------------------|---|----|
| 嘉永六年 | 一若殿様初而 御目見被
仰上候為御祝儀御料理并
御祝被下方一件 | 壹冊 | 為御祝儀被下方一件
同年 | | |
| 安政四年 | 一若殿様初而 御目見并
御内婚為御祝儀御料
理其外御祝被下方一件 | 壹冊 | 一若殿様御袖留并御前
髮執為御祝儀被遺物
御答礼一件 | 壹冊 | |
| 嘉永六年 | 一若殿様初而 御目見被
仰上候為御祝儀方々様
より被遺物御答礼并被
下方一件 | 壹冊 | 安政四年 | 一若殿様御結幣御祝
儀無御滞被為濟候二付
右為御祝儀被下方一件 | 壹冊 |
| 安政五年 | 一若殿様初而 御目見被
仰上候為御祝儀方々様
より御到来物之御答礼并
被下方一件 | 壹冊 | 安政五年 | 一若殿様御結納并御内
婚為御祝儀方々様方
御到来品御答礼其外
被下方一件 | 壹冊 |
| 嘉永六年 | 一若殿様御袖留御当日
御祝被下方一件 | 壹冊 | 同年 | 一若殿様表立御婚姻為
御祝儀方々様方御到来
物之御答礼一件 | 壹冊 |
| 同年 | 一若殿様 御目見并 | 壹冊 | 嘉永六年 | 一若殿様御官位之御
礼被仰上候二付御献上并
被遺物一件 | 壹冊 |
| 願濟御袖留御前髮執 | 五節旬月次御出仕御
願濟御袖留御前髮執 | 壹冊 | 安政四年 | 一若殿様御官位之御礼
被仰上候二付御献上并被 | 壹冊 |

- | | | | |
|---|----|---|----|
| 一 若殿様御婚禮二付
上々様御取遣并御料理
其外被下物御家中 <small>た</small>
差上物帳
正徳六年 | 老冊 | 事御祝二付被下方一件
同年 | |
| 一 若殿様御婚禮二付御
祝儀被下方之覚
享保六年 | 老冊 | 一 若殿様御賀養子御
願濟御祝儀并御引移被
為濟候御祝儀御料理
事一件
安政四年 | 老冊 |
| 一 御姉姫様久世隠岐守様江
御婚禮為御祝儀御家中
より差上物帳
同十三年 | 老冊 | 一 若殿様御賀養子御
願濟為御祝儀御取受
せ并御結幣御祝物被
進方一件
同年 | 老冊 |
| 一 御姉姫様岩城河内守様江
御婚禮二付御家中より
江戸表二而差上物之覚
安政四年 | 老冊 | 一 若殿様御賀養子御
願之通被為蒙仰候御
祝儀并御引移無御滞
被為濟候御祝儀被下方
ぬ 印 | 老冊 |
| 一 若殿様御賀養子御
願濟御祝儀并御引移被
為濟候為御祝儀方々様
より被遣物之御答札被
遣方被下方一件
同年 | 老冊 | 正徳元年
一 御家督御祝儀御振舞
御究附
元文元年 | 老冊 |
| 一 若殿様御賀養子御
願濟御祝儀并御引移被
為濟候御祝儀御料理 | 老冊 | 一 御継目之為御祝儀御
由緒之面々江御時服被
下候御書付 | 老通 |

享保十九年		
一 御家督御祝儀御振舞帳		式冊
同年		
一 御継目ニ付御家中御目見以上御祝儀罷出候面々差上物当御年始之通		老冊
同年		
一 御家督御祝儀御振舞之節御遺物并被下物之覚		老冊
宝永三年		
一 若殿様御発駕御祝儀御料理五山并出家中江被下候覚		老冊
同年		
一 若殿様御発駕御祝儀之御料理被下候面々享保八年		老冊
一 御発駕御祝儀御料理被仰付候帳		老冊
明和四年		
一 御発駕御祝儀御料理被仰付候御規式帳		老冊
元禄九年		
一 御着城御祝儀之御料理被下候人数書付		老通
元禄十二年		
一 若殿様御入国ニ付上々様方被遺物書付		老通
同年		
一 若殿様御入部為御祝儀御料理被下候帳面		老冊
正徳二年		
一 為御入部御祝儀御時服被下候覚		老冊
元文元年		
一 右同		老冊
宝暦六年		
一 入部祝儀時服差遣候覚		老冊
延宝八年		
一 御家中方年頭差上物之御定		老冊
同九年		
一 御家中寺社年頭遣物御定		老冊
同年		
一 若殿様主殿様年始		老冊

- | | |
|---------------|----|
| 御祝儀差上之覚 | |
| 同年 | |
| 一年頭之御礼嫡子遺物定 | 壹冊 |
| 元禄十一年方同十五年迄 | |
| 一 御家中 御年始御 | 壹冊 |
| 礼差上物御定書写并年 | |
| 始諸御礼差上物定 | |
| 享保六年 | |
| 一 御年始御祝儀御料理 | 壹冊 |
| 被仰付候覚 | |
| 同十二年 | |
| 一 右同 | 貳冊 |
| 元禄十一年 | |
| 一 歳暮之御祝儀差上物帳 | 壹冊 |
| 同十三年 | |
| 一 十二月廿三日廿八日歳暮 | 壹冊 |
| 御祝儀差上物帳 | |
| 一 若殿様方 御隠居様江 | 三枚 |
| 年頭歳暮差上物之書付 | |
| 延宝四年方同五年迄 | |
| 一 御在領中被遺物之記 | 壹冊 |
| 元禄六年方同七年迄 | |
| 一 御音物留書帳 | 貳冊 |
| 一 御隠居様就御移徙 | 壹通 |
| 御家中方差上物書付 | |
| 宝永六年 | |
| 一 御書院御作事就出来 | 壹冊 |
| 従 上々様被差上物并 | |
| 御役人江被下物之覚 | |
| 但 江戸御上屋敷之義也 | |
| 宝永六年 | |
| 一 梶井宮様御馳走御 | 貳通 |
| 役御首尾好被遊御勤 | |
| 候二付 | |
| 上々様方御遺物并御家中 | |
| より差上物共 | |
| 同年 | |
| 一 柳嶋御奥様堀大和守様江 | 壹通 |
| 御出二付御持参物書付 | |
| 元禄六年 | |
| 一 若殿様御講談就 | 壹冊 |
| 御拜閱為御祝儀御料 | |
| 理被下候帳 | |
| 同七年 | |
| 一 兵学出精二付御料理 | 壹冊 |
| 被下置候面々 | |
| 享保十五年 | |
| 一 若殿様御名被為改候為 | 壹通 |
| 御祝儀御家中方江戸 | |
| 表二而差上物之覚 | |

一古格御礼差上物御定帳 老冊

但 嫡子初而

御目見之節差上物并

御年始差上物共

宝曆六年

一始立摺例

同年

一諸御礼并差上物御定

宝曆十一年

一諸礼定格

安永四年

一諸御礼順同進物附

同年

一諸御礼御座敷附

但 内老冊年号無

同七年

一初而 御目見并御年

始差上物格帳

寛政十年

一諸御礼進物御定

同年

一諸御礼御座敷附

寛政十年

一年頭御礼進物御定

但 嫡子初而 御目見之節

進物準之

一諸御礼之節被下方御定

調

る 印

正徳三年

一御姫様江戸江御隠密二

御登被成候覚

寛保三年

一岩松様御出府御用留

寛保三年、明和四年迄

一岩松様平三郎様松五郎様

御出府書取

右二付書取三通

延享元年

一平三郎様御出府御発駕并

御道中御用状扣共

宝曆九年

一比佐姫様御出府之一卷并

御用留書抜共

右二付諸伺書 老通

明和四年

一松五郎様御出府御用

留書

安永元年、同二年迄

老冊

老冊

老冊

老冊

老冊

老冊

老冊

- | | | | |
|------------------------------|----|---|----|
| 一 御義様御豊様御出
府御用留 | 式冊 | 一 着座御用留
同七年 | 式冊 |
| 右二付諸書付 拾三通
享和元年 | | 一 御発駕之節碓ヶ関江
御着座御用留并御用状
扣書状扣共 | 式冊 |
| 一 数姫様於共様御出府
御用留書 | 壹冊 | 宝曆九年 | |
| 同年 | | 一 御発駕之節碓ヶ関江
御着座御用留并御用
状扣書状扣共 | 式冊 |
| 一 御二方様御出府二付惣
御入用調帳 | 壹冊 | 同十一年 | |
| を印 | | 一 右同 | 式冊 |
| 元文四年 | | 同十三年 | |
| 一 御発駕之節碓ヶ関御着
座御用留并御用状書状扣共 | 式冊 | 一 御参府之節碓ヶ関江
御着座御用留書并
御発駕之節碓ヶ関
御着座御用状扣并書状
扣共 | 式冊 |
| 同六年 | | 明和二年 | |
| 一 右同 | 式冊 | 一 右同 | 式冊 |
| 寛保三年 | | 明和四年 | |
| 一 御発駕之節碓ヶ関御着座
御用留并御用状書状扣共 | 式冊 | 一 御参府之節碓ヶ関江
御着座御用留書并
御発駕之節碓ヶ関
御着座御用状扣并書状
扣共 | 式冊 |
| 同年 | | | |
| 岩松様御出府之節 | | | |
| 一 碓ヶ関御着座御用状并
書状扣共 | 壹冊 | | |
| 宝曆六年 | | | |
| 一 御入部二付碓ヶ関江御 | 壹冊 | | |

- | | | | | | |
|---------------------|----------------------------------|----|------|--|----|
| 同六年 | 一右同 | 式冊 | 天明七年 | 一御発駕之節碇ヶ関
御用状并御書状留書并
碇ヶ関 御着座御用状扣
書状扣共 | 式冊 |
| 同八年 | 一御発駕之節碇ヶ関
御着座御用留 | 壹冊 | 同九年 | 一右同 | 式冊 |
| 安永二年 | 一御発駕之節碇ヶ関
御着座御用留并御用
状扣書状扣共 | 式冊 | 寛政三年 | 一御発駕之節碇ヶ関
御用状并御書状留書 | 壹冊 |
| 安永四年 | 一御発駕之節碇ヶ関
御着座御用留并御用
状扣書状扣共 | 式冊 | 同七年 | 一御発駕之節碇ヶ関
御用状御書状留書并
碇ヶ関 御着座御用
状扣書状扣共 | 式冊 |
| 同六年 | 一右同 | 式冊 | 寛政九年 | 一右同 | 式冊 |
| 同八年 | 一右同 | 式冊 | 同十一年 | 一右同 | 式冊 |
| 同十年 | 一御発駕之節碇ヶ関
御着座御用留并御用
状扣書状扣共 | 式冊 | 同十三年 | 一御発駕之節於碇ヶ関
御用状并書状留帳 | 壹冊 |
| 天明五年 | 一御発駕之節碇ヶ関 | 式冊 | 享和三年 | 一右同 | 壹冊 |
| 御着座御用留并御用
状扣書状扣共 | | | 同年 | 一右同 | 壹冊 |

- 一 御発駕之節碇ヶ関御着座御用状并書状扣 沓冊
- 一 若殿様御発駕御不例碇ヶ関江御逗留之処三之御屋形江御帰着御用状扣 沓冊
- 文化二年
- 一 御発駕之節於碇ヶ関御用状并書状留 沓冊
- 同四年
- 一 右同 沓冊
- 同年
- 一 御発駕之節碇ヶ関御着座御用状并書状扣 沓冊
- 同七年
- 一 御発駕之節於碇ヶ関御用状并書状扣 沓冊
- 文化九年
- 一 御発駕之節於碇ヶ関御用状并書状扣 沓冊
- 同十三年
- 一 若殿様御発駕之節於碇ヶ関御用状并書状扣 沓冊
- 文政元年
- 一 御発駕之節碇ヶ関御着座御用状并書状扣 沓冊
- 同三年
- 一 若殿様御発駕御不例碇ヶ関江御逗留之処三之御屋形江御帰着御用状扣 沓冊
- 文政九年
- 一 御発駕之節於碇ヶ関御用状扣并書状扣 沓冊
- 同十一年
- 一 御発駕之節碇ヶ関御着座御用状并書状扣 沓冊
- 天保四年
- 一 御附添登御用留書 沓冊
- 同五年
- 一 御発駕之節於鯨ヶ沢御用状扣并書状扣 沓冊
- 文久三年
- 一「△」京都為御守衛「や印江移」^(朱書) 沓袋
- 御登京一件調御用物
- 但目録 沓通
- わ印
- 元文三年
- 一 御下向之節碇ヶ関御着座御用留并御用状扣 沓冊

- 共
同五年
一 御下向之節碇ケ関御
着座御用留并御用状
書状扣共
寛保二年
一 右同
延享元年
一 右同
宝曆六年
一 御入部ニ付碇ケ関江御着
座御用状扣
同八年
一 御下向ニ付碇ケ関江御着
座御用留書并御用状扣
書状扣共
宝曆八年
一 御下向之節碇ケ関并千
歳山迄御迎之一巻
同十年
一 御下向ニ付碇ケ関江御着
座御用留書并御用状
書状扣共
同年
一 御下向之節碇ケ関江相
卷冊
- 詰候諸役人并千年山江
御迎之面々其外諸事
御用留帳
同十二年
一 御下向ニ付碇ケ関江御着
座御用留并御用状書状
扣共
宝曆十二年
一 御下向之節碇ケ関江相
詰候諸役人并千歳山江
御迎之面々其外諸事
御用留帳
同十四年
一 御下向之節碇ケ関江御
着座御用留并御用状
書状扣共
同年
一 御下向之節碇ケ関江相
詰候諸役人并千歳山江
御迎之面々其外諸事
御用留帳
明和三年
一 御下向之節碇ケ関江
御着座御用状并書状
扣
卷冊

[史料紹介] 弘前藩庁における文書管理帳簿の紹介と翻刻 (その1) (山田)

同五年	一 御下向之節碇ヶ関御 着座御用留并御用状書 状扣共	式冊	詰合御止ニ付別ニ御用留 帳無之旨上紙ニ点羽有之
同七年	一 右同	式冊	天明八年
同九年	一 右同	式冊	一 御下向之節碇ヶ関江御 着座御用状并書状扣
安永三年	一 御下向之節碇ヶ関江御 着座御用留并御用状 書状扣共	式冊	寛政二年
同五年	一 右同	式冊	一 右同
同七年	一 右同	式冊	同四年
同九年	一 右同	式冊	一 御下向之節碇ヶ関江御 着座御用留并御用状 書状共
天明四年	一 右同	式冊	寛政六年
同六年	一 御下向之節碇ヶ関江御 着座御用状并書状扣	壹冊	一 御下向之節碇ヶ関江御 着座御用留
但 天明五年より	御上下之節碇ヶ関御用人		同年方文政四年迄
			一 御当代様
			御下向之節千歳山江御迎 増御供迎御道具等有 無之儀并碇ヶ関江御迎其 外就御用同所江罷下候 面々取調帳
			寛政八年
			一 御下向之節碇ヶ関江御 着座御用状并書状扣
			同十年

一 御下向之節碇ケ関江
御着座御用状并書状扣
寛政十二年 壹冊

一 右同
享和二年 壹冊

一 右同
文化元年 壹冊

一 右同
同三年 壹冊

一 右同
但 此節御家老中御供無之
同四年 壹冊

一 右同
同六年 壹冊

一 御下向之節碇ケ関江御
着座御用留并御用状書
状扣共 貳冊

文化十四年 貳冊

一 右同
文政二年 貳冊

一 若殿様為
御名代 御下向碇ケ関江
御着座御用留帳 壹冊

同年 壹冊

一 若殿様 壹冊

御下向之節碇ケ関江御
着座御用状并書状扣
同八年 壹冊

一 御入部碇ケ関御着座
御用留并御用状且書状
扣 壹冊

但 千歳山江御出迎并
御迎御供之面々名前帳
壹冊結置

文政八年 壹冊

一 玄圭院様 頭休院様
戒香院様 御先代様
御当代様御入部二付 壹冊

御迎登并右御用二付碇ケ
関其外所々江相詰候面々
名前取調帳

同十二年 壹冊

一 御下向之節碇ケ関江御
着座御用状并書状扣
天保四年 壹冊

一 御下向之節碇ケ関御
用状扣 壹冊

か印

一 御道中控 壹卷

一 御道中控 壹卷

〔史料紹介〕 弘前藩庁における文書管理帳簿の紹介と翻刻（その1）（山田）

一江戸江之御道中日記 寛文十年	壹冊	一從御国江戸迄御道中日記 同十四年	壹冊
一御発駕御道中日記 延宝三年	壹冊	一從御国江戸迄御道中日記 日記	壹冊
一右同	壹冊	一元文二年	壹冊
一右同	壹冊	一從御国江戸江御道中日記	壹冊
一御參勤道中日記 天和三年	壹冊	元文四年	壹冊
一御發駕御道中日記 元禄六年	壹冊	一右同	壹冊
一御国方江戸迄道中日記 同年	壹冊	寛保三年	壹冊
一御發駕道中日記下書 同年	壹冊	一岩松様御出府御道 中日記	壹冊
一御發駕御道中方御 用状扣 元禄十年	壹冊	延宝「享」元年 <small>（朱巻）</small>	壹冊
一從御国元江戸迄御道中 日記	壹冊	一平三郎様御登之節御 道中御用状并御書状書 拔	壹冊
同十二年	壹冊	宝曆七年	壹冊
一從御国江府迄道中日記 同十三年	壹冊	一御參勤御道中御用 留并御用状扣共 同年	貳冊
一若殿様初而御參勤	壹冊	一御国方江戸江御道中御 用状扣 宝曆九年	壹冊
		一御參勤御道中日記 同十一年	壹冊
		一右同	壹冊

- 同年
一 御国元^る江戸江御道中 老冊
御用状并書状扣
同十三年
一 御発駕御道中御用留 老冊
同年
一 從御国元江戸江御道中 老冊
御用状并書状扣
- よ 印
- 明和二年
一 御参府御道中日記并 三冊
御用留御用状書状扣共
同四年
一 御参府御道中日記并 式冊
御用状書状扣共
- 外二 千住御本陣出火之
儀二付諸書付 九通
- 明和四年
一 松五郎様御出府御道 老冊
中日記
外二 右御出府二付御道中
御用状 四通
- 一 御泊附 老通
一 御泊御宿被下方 老冊
- 同六年
一 御参府御道中日記并 三冊
御用状書状扣共
同八年
一 御参勤御道中日記 老冊
天明五年
一 御参府御道中御用 老冊
留書
同七年
一 御参府御道中御用状并 老冊
書状扣
寛政元年
一 御参府御道中御用 老冊
状扣
同三年
一 御参府御道中御用状 老冊
書状扣
同五年
一 御参府御道中御用状扣 老冊
寛政九年
一 御参府御道中御用状 老冊
御書状扣
同十一年
一 御参府御道中御用状 老冊
御書状扣并御用留

[史料紹介] 弘前藩庁における文書管理帳簿の紹介と翻刻(その1)(山田)

享和元年	一 御発駕御道中御用状	壹冊	扣書状扣	同九年	壹冊
	御書状扣		一 御参府御道中御用留	同十三年	壹冊
	同三年		一 右同	天保三年	壹冊
	一 御発駕御道中御用留并	貳冊	一 御参府御道中御用状扣	同九年	壹冊
	御用状御書状扣共		一 御参府御道中御用留下書	同十一年	壹冊
	文化七年		一 御参府御道中御用	留書并御用状扣共	壹冊
	一 御参府御道中御用留并	貳冊	天保十五年	一 右同	壹冊
	御用状扣共		弘化三年	一 右同	壹冊
	文化十一年		嘉永三年	一 右同	壹冊
	一 右同	貳冊	同五年	一 右同	壹冊
	同十二年		同七年	一 右同	壹冊
	一 御発駕御用状扣	壹冊	万延元年	一 右同	壹冊
	同十三年		文久三年		壹冊
	一 御参府御道中御用留并	貳冊			
	御道中江戸御国御用状				
	扣共				
	同年				
	一 若殿様御参府御道中	壹冊			
	御用状扣				
	文政三年				
	一 若殿様御参府御道中	貳冊			
	御用留并御用状扣共				
	文政五年				
	一 御参府御道中御用状	壹冊			

- | | | | |
|------------------------------|----|---------------|----|
| 一 右同 | 老冊 | 一 若殿様御入国日記 | 七冊 |
| 元治元年 | | 元禄十二年 | |
| 一 右同 | 老冊 | 一 若殿様御入国ニ付窺 | 老冊 |
| 慶応元 <small>(墨書)</small> 「三」年 | | 相済候覚 | |
| 一 右同 | 老冊 | 右ニ付三之御郭御屋敷前 | |
| | | 之図 老枚 | |
| | | 同年 | |
| 寛文十二年 | | 一 若殿様御入国ニ付御用 | 老冊 |
| 一 從江戸御在国御道中 | 老冊 | 之覚 | |
| 尔而日記 | | 同年方同十三年迄 | |
| 延宝六年 | | 一 若殿様御入国ニ付御日記 | 式冊 |
| 一 御下向之節道中日記 | | 書拔并別帳書拔共 | |
| 天和二年 | | 同十二年方宝永二年迄 | |
| 一 從江戸御在所江御発駕 | 老冊 | 一 若殿様御入国別帳御 | 老冊 |
| 道中日記 | | 日記書拔 | |
| 貞享三年 | | 元禄十三年 | |
| 一 從江戸弘前江御発駕 | 老冊 | 一 若殿様御入国日記 | 三冊 |
| 道中日記 | | 同年 | |
| 元禄五年 | | 一 從江戸御国迄御道中 | 老冊 |
| 一 江戸從本所御国迄道 | 老冊 | 日記 | |
| 中日記 | | 宝永元年 | |
| 同九年 | | 一 從江戸御国江之御道中 | 老冊 |
| 一 從江戸御国迄御道中 | 老冊 | 御用留書 | |
| 日記 | | 同二年方同三年迄 | |
| 同十二年 | | 一 若殿様二度目御下向 | 四冊 |

〔史料紹介〕 弘前藩庁における文書管理帳簿の紹介と翻刻（その1）（山田）

日記	
右同	
一 若殿様御入国別帳書	壹冊
拔	
宝永三年	
一 従江戸御国迄御道中日記	壹冊
同四年	
一 若殿様三度目御下向	壹冊
江戸江御飛脚相立候	
御用之覚	
同七年	
一 従江戸御国迄御道中日記	壹冊
正徳元年方同二年迄	
一 玄圭院様御入部御用	壹冊
一卷	
同二年	
一 御入部御道中日記	貳冊
同四年	
一 江戸より御国江御道中	壹冊
日記	
享保十四年	
一 右同	貳冊
同二十年方元文元年迄	
一 顕休院様御入部御用	壹冊
一卷	
享保二十一年	
一 顕休院様御入部御日	壹冊
記書抜	
元文元年	
一 御入部御道中日記并	貳冊
御用状扣	
同三年	
一 江戸方御国元江御道	壹冊
中日記	
元文五年	
一 右同	壹冊
寛保二年	
れ 印	
一 御下向御道中日記	壹冊
宝暦六年	
一 御入部御道中御用状并	壹冊
書状其外被仰渡扣	
宝暦八年	
一 御下向御道中御用留并	貳冊
御用状書状扣共	
同十年	
一 御下向御道中日記并	貳冊
御用状扣共	
同十二年	

- | | | | |
|---|----|----------------------------------|----|
| 一 御下向御道中日記并
御用状書状扣共
同十四年 | 式冊 | 一 扣書状扣
同六年 | 式冊 |
| 一 右同
明和三年 | 式冊 | 一 御下向御道中御用状
書状扣
同十年 | 式冊 |
| 一 右同
同五年 | 式冊 | 一 右同
同十二年 | 式冊 |
| 一 御下向御道中日記并
御用状書状扣共
明和七年 | 式冊 | 一 御下向御道中御用留并
御用状扣書状扣共
享和二年 | 式冊 |
| 一 御下向御道中金錢被下方
同九年 | 式冊 | 一 御下向御道中御用状
扣書状扣
文化元年 | 式冊 |
| 一 御下向御道中御用状
扣并書状共
安永三年 | 式冊 | 一 御下向御道中御用留并
御用状扣書状扣共
同三年 | 式冊 |
| 一 右同
同七年 | 式冊 | 一 右同
同四年 | 式冊 |
| 一 御下向御道中御用留并
御用状扣共
但 御用状卷通結置
同九年 | 式冊 | 一 御下向御道中御用留
同六年 | 式冊 |
| 一 御下向御道中御用状
扣并書状共
寛政四年 | 式冊 | 一 右同
同八年 | 式冊 |
| 一 御入部御道中御用状 | 式冊 | 一 御下向御道中御用留并
御用状扣共
(貼紙) | 式冊 |

- 「文化十二年
一御下向御道中 老冊
御用留
同年
一御下向之節碇ヶ関并大鱈
御仮屋江
御着座御用状并書状扣 老冊」
文化十四年
一御下向御道中御用留并 式冊
御用状扣共
文政二年
一若殿様御下向御道中 老冊
御用状扣
同四年
一御下向御道中御用留并 式冊
御用状扣共
同年
一右同 老冊
同年
一御下向於御道中横手 老冊
駅久保田表江懸合之御
内用二而罷越候二付御用
留
文政八年
一御入部御道中御用留并 式冊
- 御用状扣共
同十年
一御下向御道中御用留并 老冊
御用状扣勤書共
天保二年
一御下向御道中御用留并 老冊
御用状扣
同十年
一右同 老冊
但 内々御国表江之御用状
扣并江戸表江之御用状
扣有之
天保十二年
一御下向御道中御用留 老冊
同十四年
一御下向御道中御用留并 老冊
御用状扣共
但 内々御国并江戸表江之
御用状扣有之
弘化二年
一御下向御道中御用留 老冊
但 御用状扣共
同四年
一右同 老冊
嘉永四年

- 一 御下向御道中御用留并御用状共 壹冊
- 同六年
- 一 右同 壹冊
- 安政二年
- 一 若殿様御下向御道中 壹冊
- 御用留并御用状扣共
- そ 印
- 一 御入部御供御家中 壹冊
- 宿割
- 延宝七年
- 一 御家中江戸御供之帳 壹冊
- 天和二年
- 一 来亥年江戸御供惣人 貳冊
- 数積之帳
- 同年
- 一 御供之内方御役付之覚 壹冊
- 貞享二年
- 一 江戸御供御先御跡并 壹冊
- 御役付之覚帳
- 元禄三年
- 一 御国江之御供惣人数之帳 壹冊
- 同六年
- 一 酉之年江戸御供帳 壹冊
- 同八年
- 一 亥年江戸江御供惣人数帳 壹冊
- 元禄十年同十二年
- 一 御供割帳 貳冊
- 同十二年
- 一 若殿様御供之覚 壹冊
- 外二書付九通
- 同十二年
- 一 御国江之御供帳并 貳冊
- 若殿様御参府御供割帳共
- 同十四年
- 一 御道中役付并御番割下 壹冊
- 帳
- 同十六年
- 一 江戸江之御供帳 壹冊
- 宝永二年
- 一 来戌年 貳冊
- 若殿様御供二而罷登候面々同年
- 一 若殿様御国元江之御供人数書付 壹冊
- 同三年
- 一 御国元江之御供帳 壹冊
- 同四年
- 一 江戸江之御供帳 壹冊

[史料紹介] 弘前藩庁における文書管理帳簿の紹介と翻刻(その1)(山田)

同六年	老冊	明和三年	老冊
一右同		一御下向碇ヶ関入人馬	
同七年		調帳	
一御国御供人数付并御国	式冊	同七年	
元江御先立御跡立帳共		一右同	老冊
正徳三年		同九年	
一江戸江之御供帳	老冊	一御下向碇ヶ関口御関	老冊
同四年		所入人馬帳	
一当御下向御供上下	老冊	文化八年	
附帳		一御下向碇ヶ関口御関所	老冊
同五年		入人馬調	
一江戸江之御供帳	老冊	文政二年	
享保三年		一右同	老冊
一御道中御供人数付帳	老冊	同四年	
同五年		一御下向碇ヶ関口入人	老冊
一当御供上下人数付帳	老冊	馬帳	
同十二年		同十二年	
一碇ヶ関御関所口御供人	老冊	一右同	老冊
数改帳		一御宿取江之御書付并	式通
寛保三年		御道中割共	
一碇ヶ関御関所口御供人	老冊	一御関所札役江之御書付并	四通
数改帳		御宿取江之御書付御	
宝暦八年		道中割共	
一御下向御道中并惣人	老冊	一御宿取役人江申渡之	式通
馬調帳		書付并御道中割共	

一 御宿取江之御書付并
御道中割共 三通

一 御関札役江之御書付并
御道中割共 三通

一 御宿取江之御書付
御関札持参之役人江申 三通

一 関札持参之役人江申
渡之覚 老通

一 宿札持参之役人江申
渡覚 老通

享保五年 老通

一 御宿取江之御書付
宝曆十四年 老通

一 御関札役江之御書付并
御宿取江之御書付御道
中割共 四通

明和五年 四通

一 関札持参之役人江申
渡之覚并御宿取江之
御條目御道中割共 四通

明和七年 式通

一 御宿取江之御書付并御
道中割共 式通

天明六年 老通

一 関札役江之御書付 老通

つ 印

延宝五年 老册 (天部貼紙欠損)

一 御発駕御規式帳
貞享四年 老册

一 今度御発駕之節御規式帳
元禄六年 老册

一 御発駕御規式帳
元禄八年 老册

一 右同 老册

同十年 老册

一 右同 老册

同十二年 老册

一 右同 老册

同十四年 老册

一 右同 老册

宝永四年 老册

一 右同 老册

同六年 老册

一 右同 老册

元文二年 老册

一 右同 老册

元文四年 老册

一 御発駕御規式帳
同六年 老册

一 右同 老册

〔史料紹介〕 弘前藩庁における文書管理帳簿の紹介と翻刻（その1）（山田）

寛保三年	一右同	老冊	一御発駕御規式帳	老冊
宝曆九年	一右同	老冊	同三年	
同十一年	一右同	式冊	一右同	
同十三年	一右同	式冊	同五年	
明和四年	一右同	式冊	一御発駕御規式帳	老冊
安永二年	一右同	老冊	一若殿様御発駕御規式帳	式冊
一御発駕御規式帳	一右同	老冊	天保九年	
同四年	一右同	老冊	一御発駕御規式帳	老冊
同六年	一右同	老冊	万延元年	
同八年	一右同	老冊	一右同	
同十年	一右同	老冊	延宝六年	
天明五年	一右同	老冊	ね印	
同七年	一右同	式冊	一御城着書付之覚	老冊
一御発駕御規式帳	一右同	式冊	貞享元年	
寛政元年	一右同	老冊	一今度御城着之節御規式帳	老冊
			貞享三年	
			一今度御城着之節御規式帳	老冊
			元禄五年	
			一御帰城御規式帳	式冊
			同七年	
			一右同	老冊

同九年	式冊	一右同	同九年	式冊
同一年	式冊	一御着城御規式帳	一御着城之日御番割帳	式冊
同十一年	式冊	同十一年	同二年	式冊
一右同	式冊	一御着城御規式帳	一若殿様御下向之節御規式帳	式冊
同十二年	式冊	同十二年	同四年	式冊
一若殿様御入部御規式帳	式冊	一右同	同五年	式冊
元禄十二年	式冊	一御着城御規式帳	元文三年	式冊
帳	式冊	元文三年	一右同	式冊
一玄圭院様御在世	式冊	一右同	同五年	式冊
若殿様御下向之節御規式帳	式冊	同五年	一右同	式冊
同一年	式冊	寛保二年	一右同	式冊
一若殿様御下向之節御規式書拔	式冊	一右同	宝曆六年	式冊
同一年	式冊	一御入部二付御着城御規式	同十年	式冊
一若殿様御着座被遊候二付御掃除之覚	式冊	一御着城御規式帳	同十二年	式冊
同十三年	式冊	一右同	同十四年	式冊
一御着城御規式帳	式冊	同十四年	一御着城御規式帳	式冊
元禄十五年	式冊	一御着城御規式帳	明和三年	式冊
一右同	式冊	明和三年	一右同	式冊
宝永元年	式冊	一右同		
一右同	式冊			

〔史料紹介〕 弘前藩庁における文書管理帳簿の紹介と翻刻（その1）（山田）

同五年	一右同	老冊	一右同	一若殿様為御名代御着城	老冊
同七年	一右同	老冊	文政二年	御規式帳	老冊
同九年	一（御儉約中御着城御規式帳）	式冊	同八年	御規式帳	老冊
安永三年	安永三年	式冊	一御入部	御着城御規式帳	老冊
一右同	一右同	老冊	同十年	式帳	老冊
同五年	同五年	老冊	一御着城御規式帳	御着城御規式帳	老冊
一右同	一右同	老冊	同十二年	同十二年	老冊
安永七年	安永七年	老冊	一右同	天保二年	老冊
一（御儉約中御着城御規式帳）	一（御儉約中御着城御規式帳）	老冊	天保二年	一御着城御規式帳	老冊
同九年	同九年	老冊	一御着城御規式帳	御着城御規式帳	老冊
一右同	一右同	老冊	天保四年	天保四年	老冊
天明四年	天明四年	老冊	一右同	同十年	老冊
一御入部二付御着城	一御入部二付御着城	老冊	同十年	一御入部	老冊
御規式帳	御規式帳	老冊	一御入部	御着城御規式帳	老冊
同八年	同八年	老冊	式帳	同十四年	老冊
一御儉約中	一御儉約中	老冊	同十四年	一御着城御規式帳	老冊
御着城	御着城	老冊	一御着城御規式帳	御着城御規式帳	老冊
御規式帳	御規式帳	老冊	嘉永六年	嘉永六年	老冊
寛政二年	寛政二年	老冊	一右同	一右同	老冊
一右同	一右同	老冊	安政二年	安政二年	老冊
文化六年	文化六年	老冊	一若殿様為	御名代御着城	老冊
一御着城御規式帳	一御着城御規式帳	老冊	御規式帳	御規式帳	老冊
文化十四年	文化十四年	老冊	御規式帳	御規式帳	老冊

- | | | |
|--------------------------------------|------------------------------------|----|
| 同六年 | 一 御入部 御着城御
規式帳 | 壹冊 |
| 文久元年 | 一 御着城御規式帳 | 壹冊 |
| 元治元年 | 一 御着城御規式帳 | 壹冊 |
| 一 右同 | | 壹冊 |
| 慶応三年 | 一 右同 | 壹冊 |
| 一 右同 | | 壹冊 |
| 元禄十六年 | な 印 | |
| 一 御発駕就御祝儀御能
帳并寺社方江御能見物被
仰付候覚帳共 | | 三冊 |
| 宝永二年 | 一 御発駕就御祝儀御能并
御囃子寺院江御料理被下
候覚共 | 貳冊 |
| 宝永四年 | 一 御発駕就御祝儀御能帳 | 壹冊 |
| 享保十年 | 一 御発駕就御祝儀御料理并
御能被仰付候帳 | 壹冊 |
| 同十五年 | | |
| 一 御発駕就御祝儀御料理并
御囃子被仰付候帳 | | 壹冊 |
| 元文二年 | 一 御発駕就御祝儀御能被
仰付候帳 | 壹冊 |
| 外二 寺社方江御能見物被
仰付候覚 | | 貳冊 |
| 元文四年 | 一 御発駕就御祝儀御料理并
御慰之御能被仰付候御
規式帳 | 壹冊 |
| 外二 寺院方御能見物被
仰付候覚 | | 壹冊 |
| 同六年 | 一 右同 | 壹冊 |
| 一 右同 | | 壹冊 |
| 宝暦七年 | 一 御発駕就御祝儀之御料
理事御能被仰付候式
同九年 | 壹冊 |
| 一 御発駕就御祝儀御料理并
御慰御能被仰付候御規
式帳 | | 貳冊 |
| 宝暦十一年 | 一 御発駕就御祝儀御料理并
御慰御能被仰付候御規
式帳 | 貳冊 |

式帳			
但 宝曆十二年			
以来御規式帳二御慰与			
申文字書入申間敷旨			
此度被仰付候			
同十三年			
一御発駕御祝儀御料理并			
御能被仰付候御規式帳			式冊
明和二年			
一御発駕御祝儀御料理并			
御能被仰付候御規式帳			壹冊
同六年			
一右同			
同八年			
一御儉約中 御発駕			
御祝儀御料理御能被			壹冊
仰付候御規式帳			
安永二年			
一右同			
同四年			
一右同			
同六年			
一御儉約中 御発駕			壹冊
御祝儀御料理御能被			
仰付候御規式帳			
安永八年			
一右同			
同十年			
一右同			
寛政十一年			
一御発駕御祝儀御料理御			
能被仰付候御規式帳			式冊
同十三年			
一右同			
天保五年			
一御発駕并豊作御祝御			
能御用留并剪紙扣			壹冊
(一丁記載なし)			
天和二年			
一就御帰国為御祝儀御			
能被仰付候帳			壹冊
貞享元年			
一御着城御祝儀御能御			
規式帳			壹冊
同年			
一就御着城御能被仰			
付候御規式帳			壹冊
貞享三年			
一右同			
元禄十一年			
			壹冊

- 一 御着城二付御能見物被 三冊
- 一 仰付候覚并寺院江見物被
- 一 仰付候覚共
- 一 同十二年
- 一 若殿様御入国二付御饗 式冊
- 一 応御能被仰付候覚
- 一 享保八年
- 一 御着城御祝儀御料理并 壹冊
- 一 御慰之御能被仰付候御
- 一 規式帳
- 一 寛保二年
- 一 一右同 壹冊
- 一 宝曆六年
- 一 御入部御能二付御料理 壹冊
- 一 被下置候覚
- 一 同八年
- 一 御着城御祝儀御料理并 式冊
- 一 御能被仰付候御規式帳
- 一 宝曆十年 式冊
- 一 御着城御祝儀御料理并 式冊
- 一 御能被仰付候御規式帳 壹冊
- 一 同十二年
- 一 一右同 壹冊
- 一 同十四年
- 一 一右同 壹冊
- 一 明和五年
- 一 一右同 壹冊
- 一 同七年
- 一 一右同 壹冊
- 一 同九年
- 一 御儉約中 御着城 壹冊
- 一 御祝儀御料理并御能被 壹冊
- 一 仰付候御規式帳
- 一 安永三年
- 一 御儉約中 御着城 壹冊
- 一 御祝儀御料理并御能被 壹冊
- 一 仰付候御規式帳
- 一 同五年
- 一 一右同 壹冊
- 一 同七年
- 一 一右同 壹冊
- 一 同九年
- 一 一右同 壹冊
- 一 但 寛政十二年与点羽有之
- 一 寛政十年 式冊

一 御着城御祝儀御料理并
御能被仰付候御規式帳

老冊

ら
印

延宝八年

一 御代替并

式冊

若殿様初 御目見御帰

一 御祝儀御能諸式御定并

御能御触之奉書剪紙

之留共

正徳元年

一 御家督御祝儀御能見

式冊

物被仰付御料理并赤飯

被下候人数并御時服被

下候町人之覚共

同二年

一 御着城二付 御継目御

老冊

祝儀御能被仰付候御規

式帳

同年

一 御継目御祝儀御能五日

老冊

之内見物被仰付之御料

理御菓子被下之右為御

礼登 城其外之覚

正徳二年

一 御継目之御祝儀御能

式冊

見物御料理并御菓子被

下候人数之覚并

御目見不申上嫡子并家

督不相濟面々月並出仕

以上之子供十歳以上之分

御能三日目右四日目迄

見物之覚共

同年

一 初日於御白砂御能見

式冊

物之者共并御料理被下

置候部共

正徳二年

一 初日於御座敷御能見

老冊

物御菓子被下候部

同年

一 二日目於御白砂御能見

式冊

物之覚并於御座敷御

能見物御料理被下置候部

共

同年

一 二日目於御座敷御能

老冊

見物御菓子被下候覚

享保十九年

一 御家督御祝儀御振舞并

老冊

御能一卷帳面

享保廿一年

一御繼目御祝儀之御能

見物被仰付御料理御

菓子被下候面々并御役者江

要脚被下候伺書

同年

一初日於御座敷御能見物

之面々

同年

一二日目於御座敷御能

見物之面々

同年

一三日目寺社方於御座

敷御能御料理被下候覚

元文元年

一御繼目御祝儀之御能

見物被仰付御料理被下

置候御規式之覚

宝曆六年

一繼目祝儀之能申付規式

同年

一繼目祝儀之能五日之内

見物申付之料理菓子

差遣右為一礼登

老冊

老冊

老冊

老冊

老冊

老冊

老冊

城之一式

寛政六年

一御繼目為御祝儀御料

理事并御能被仰付候

御規式帳

寛政六年

一御繼目之御祝儀御料

理事并御能被仰付候

御用留書

同年

一御繼目御祝儀御料理并

御祝被下置御能見物被

仰付候節剪紙扣

同年

一御繼目御祝儀二付御料

理并御祝頂戴御能見

物被仰付候御剪紙扣

(半丁記載なし)

延宝九年

一年頭御祝儀御能諸式

之御定并御能御規式

帳共

貞享二年

一正月十八日年始并賀御

祝儀御能御規式帳

老冊

老冊

老冊

老冊

式冊

老冊

〔史料紹介〕 弘前藩庁における文書管理帳簿の紹介と翻刻（その1）（山田）

元禄八年	一 御年始御祝儀御能帳	老冊	享和二年「三年也」 <small>（貼紙）</small>
正徳三年	一 御年始御祝儀御能被仰付候覚	老冊	一 御年始御祝儀御料理御能御規式帳
享保十五年	一 御年始御祝儀之御料理并御慰之御能被仰付候覚	老冊	文化四年
元文四年	一 御隠居様方御年始御祝儀之御料理并御慰之御能被仰付候覚	老冊	一 御年始御祝儀御料理御能御規式帳
同六年	一 御年始御料理御慰御能被仰付候覚	老冊	貞享元年
寛保三年	一 御年始御祝儀御料理御慰御能被仰付候覚	老冊	一 御朱印御頂戴御祝儀御能御規式
安永四年	一 御儉約中御年始御祝儀御料理御能御規式	老冊	元禄八年
同八年	一 右同	老冊	一 御賀御祝儀御能帳
			元禄八年
			一 大奥様御七夜御祝儀御能御規式
			享保十三年
			一 玄圭院様御六十御賀御祝儀御能御規式帳
			安永七年
			一 戒香院様御四拾御年賀御祝儀御能御規式帳
			同一年
			一 戒香院様御四拾初度

御能被仰付候御規式帳

文化三年

一 初日方三日目迄

於御座敷御能見物御

料理被下候面々

同年

一 御高直御祝二付高年之

面々江御祝被下置候剪紙扣并

申渡留帳

同年

一 御高直御祝二付七十歳以上

年齢之面々江被下方

同年

一 御高直御祝儀二付

御目見以下諸組諸支配

無袴之者并御家中又者

男女七十歳以上年齢之者

共江為御祝儀御酒代被

下方

文化三年

一 御高直御祝儀二付在々并

弘前町九浦町男女七十

歳以上年齢之者共江為

御祝儀御酒被下方

同年

三冊

老冊

式冊

老冊

三冊

一 御高直御祝二付近々書

出候町在高年之者江御

酒代被下方調帳

文化三年

一 御高直御祝二付寺社七

十歳以上年齢之面々御

目録被下方

同六年

一 御高直并御官位

御昇進御祝儀御能

御用留書

同年

一 御高直之上被叙

四品候就御祝儀御能見

物御料理頂戴被仰付候

面々剪紙扣

同十一〔六〕年

一 十万石 御高直之上

四品被叙候為御祝儀五

日之内御能御規式并御

能見物御料理并御祝被

下候御規式共

文化六年

一 初日方五日目迄於

於座敷御能見物御料

老冊

老冊

老冊

老冊

式冊

三冊

- 理被下候面々
同年
一今度
御高直被叙 四品候御祝儀并御祝御能御用懸江被下方調
右二付書取 老通
老冊
- 御祝頂戴御能見物被仰付候面々
同年
一御昇進御祝三日之内
御能二付初日迄三日目迄御料理并御祝被下方御座敷附
文政四年
一御目見以下御祝被下御能見物之者共日割
但 無袴之者并一刀差之者御祝被下候日割共
同八年
三冊
- 御昇進御祝御能御用留并剪紙扣
同年
一御昇進之御祝儀御能御規式并御能見物被仰付御料理并御祝被下候御規式共
文政四年
一初日迄三日目迄
御昇進之御祝御能二付見物被仰付登
城之面々
同年
一今度就
御昇進御祝御料理并
二冊
- 御昇進御隱居御家督
御入部御祝儀之御能見物被仰付御料理并御祝被下候剪紙扣
文政八年
一御昇進御隱居御家督
御入部御祝儀之御能被仰付候御規式
同年
老冊
- 御昇進御隱居御家督
御入部御祝儀之御能見物被仰付御料理并御祝被下候剪紙扣
文政八年
一御昇進御隱居御家督
御入部御祝儀之御能被仰付候御規式
同年
老冊

一 御昇進御隠居御家督 壹冊

御入部御祝儀之御能見

物被仰付御料理并御祝

被下候五日之御規式

同年

一 初日方五日目迄於 五冊

御座敷御能見物御料

理并御祝被下候面々

文政八年

一 五日目於 壹冊

御座敷親子 御目見之

族未 御目見不相濟

十歳以上之嫡子并大寄合

格以上之二男三男御側

役以上之嫡孫御手廻格

以上之隠居共御能見物

御祝被下候面々

同年

一 於江戸表 貳冊

御隠居御家督御祝

儀被下方帳并御料理事

御規式帳共

一 文政八年 壹冊

御昇進御隠居御家督

御入部御祝儀之御能

被仰付黒石役人江御料

理頂戴御能見物被

仰付候扱一件

天保九年

一 御昇進御祝御能御 貳冊

用留并剪紙扣共

同年

一 御昇進之御祝儀御 貳冊

能御規式并御料理御規

式帳共

の 印

嘉永四年方同五年迄

一 御昇進御祝御能御 壹冊

用留

同年

一 御祝御能剪紙扣 壹冊

但 右二付勘定奉行内

意書并先例御入用

調書取共 五通

嘉永四年同五年

一 此度御祝事相重候二付 壹冊

為御祝儀五日之内御能

被仰出候右御祝儀御規式

嘉永四年

- | | | |
|--|--|----|
| 初日 | 一 此度御祝事相重候二付
御祝儀之御能見物被
仰出候二付御料理并御祝
被下置候五日之御規式
同年 | 壹冊 |
| 二日目 | 一 此度御祝事相重候二付
御祝儀之御能見物被
仰出候二付御料理并御祝
被下置候御規式
嘉永五年 | 壹冊 |
| 三日目迄 | 一 昨年御祝殘御能此度
見物被仰出候二付御料
理并御祝被下置候御規式
同年 | 三冊 |
| 一 此度御祝事相重候二付
為御祝儀五日之内御能
被仰出候寺社御規式
嘉永四年同五年 | 壹冊 | |
| 一 高年之面々御祝被
下置候剪紙扣并申渡
留帳共
嘉永五年 | 壹冊 | |
| 一 昨年御祝殘御能此度
被仰出候二付在々男女
八十歳以上年齢之者共江
為御祝儀御酒代被下
方
同年 | 壹冊 | |
| 一 本次郎殿家来御祝頂
戴御能見物被仰付候
見積帳
お印
貞享四年 | 壹冊 | |
| 一 御慰御能之事
元禄八年 | 壹冊 | |
| 一 寺院并其外御能見物
被仰付候面々
元禄十年 | 壹冊 | |
| 一 仕舞見物被仰付寺院江
御料理被下候覚
同十三年 | 壹冊 | |
| 一 御慰御能被仰付候覚
但 御慰御能之図并
御着城御能御規式
之図共 貳枚
同年 | 貳冊 | |

一 寺社方御能見物被
仰付候面々 式冊

同十五年
一 御慰御能被仰付候
覚并寺社方御能帳共 三冊

宝永元年
一 御慰之御能被仰付候
覚并導成寺御能被 式冊

仰付候覚共
同三年
一 御能被仰付候覚 式冊

同五年
一 御慰御能被仰付候覚 式冊

元文元年
一 右同 式冊

同三年
一 右同 四冊

同年
一 御慰之御能町人町医
見物被仰付候覚并町人江
見物被仰付候人別書共 式冊

元文五年
一 御慰御能被仰付候覚 式冊

寛保二年
一 右同 式冊

同三年
一 右同 式冊

宝曆十年
一 寺院方江御能見物被
仰付候覚 式冊

同十二年
一 御慰之御能見物被
仰付候覚 式冊

正徳二年
一 御慰御能被仰付候覚并
見物被仰付候面々共 式冊

同三年
一 寺社方御能見物被
仰付候覚 式冊

同五年
一 寺院之面々江御料理被
下置御囃子見物被仰
付候覚 式冊

享保五年
一 於三之丸歌舞伎被
仰付候留書 式冊

同十三年
一 導成寺御能二付覚帳 式冊

く 印

- 宝永元年
一 桂光院様五十回御忌御
法事相濟候節寺社方并
御家中江御能見物被
仰付候面々
享保十四年
一 高源院様百回御忌御
法事相濟候節寺院并御
家中江御能見物被
仰付候覚
文化三年
一 瑞祥院様式百回御忌御
法事相濟御能方御用留
書并右二付委細剪紙扣共
同年
一 瑞祥院様式百回御忌御
法事無御滞被為濟御
能被仰付候二付御規式帳
同六年
一 妙心院様百回御忌御
法事相濟御能御用留并剪
紙扣共
文化六年
一二日目に於御座敷御能
見物御料理被下候面々
老冊
- 老冊
- 同年
一 五日目に於御座敷親子
御目見之族未
御目見不相濟十歳以上之
嫡子大寄合格以上二男三
男長柄奉行格以上之嫡孫
御盃格以上之隠居共御
能見物御祝被下候面々
文政十二年
一 高源院様二百回御忌御
法事相濟御能御用留并剪
紙扣共
や 印
文久三年
一 御上京 御免野宮宰
相中将様方小見山藤兵衛江
御渡御書付
同年
一 京都為御守衛
御登京一件御用物
但 目錄 老通
文久三年
一 京都為御警衛就
御上京御用留
老冊
- 老冊
- 老冊
- 老冊
- 老冊

- 元治元年より同二年迄
- 一江戸より 御上京御用留 巻冊
- 慶応元年
- 一御上京御本陣下陣惣
絵図 巻冊
- 但下宿所付絵一卷并
- 一両御門前御固所一枚
- 元治元年
- 一京都御守衛 巻冊
- 御上京御供登名所調
- 一京都 巻冊
- 御守衛行列帳
- 一同人数調 巻冊
- 元治元年
- 一御上京 巻冊
- 御行列帳〈從江戸品川迄〉惣御供
同年
- 一御上京ニ付非常之節御家名不汚 一通
- 忠勤候様御自筆之写
- 一右ニ付御口達 巻通
- 一右ニ付心得方ヶ条書を以
- 被仰付候御口達 巻通
- 一右ニ付御道中法令 巻通
- 一右ニ付戦士法令 巻通
- 一右ニ付頭奉行法令 巻通

一右ニ付輕卒法令
【史料2・3 整理番号2009H-3】 巻通

〔表紙〕

五番題帳

〔朱書〕
〔冊中朱書アリ〕

〔内題〕

〔五番題帳〕

〔小口書〕

〔五番題帳〕

い 印

一親方町大札ノ辻之石垣 巻枚

御普請之図

一南溜池埋樋御普請 巻枚

仕様向之図

一作事吟味役大工頭之 八通

外江戸詰合御止之儀ニ付

御沙汰書并諸書取共

右ニ付御扶持御賄調帳 三冊

一御省略ニ付大工頭格式并 九通

帯刀 御免 御目見等

不被仰付候儀御内状并

書取共

寛文五年

一 御大名衆方御所望之

壹冊

諸材木并入付払直段付帳

延宝九年方貞享四年迄

一 神田浅草白山本庄

四冊

四ヶ所御屋敷御長屋割

貞享元年方同二年迄

一 御作事御勘定目録

拾三冊

元禄四年

一 貞享四卯年方元禄三年ノ

十一月迄常小屋御入用銀

目録

三通

同五年

一 北本所加藤太郎左衛門殿松平

三通

与兵衛殿両屋敷之間割

余り地御借地被成候ニ付

右御証文

壹枚

外 右ニ付絵図

元禄十三年

壹冊

一 江戸御中屋敷御普請

御入用諸色并御有余扣

享保二年

貳冊

一 御上屋敷御作事相

勤候御手大工勤日并
御上屋敷御長屋割之図

外二 若殿様御用御長屋

御締方之図并

御上屋敷御用御絵図

共 三枚

同十年方同十一年迄

壹冊

一 唐内坂御茶屋作事

御用留書

元文元年

壹冊

一 津軽帯刀殿御登ニ付

跡家屋敷改帳

寛保二年

壹冊

一 隈部伊織上屋敷改帳

但 下屋敷跡畑改書付壹通

外二図式三枚

壹冊

同年

一 御建立寺社御修覆

御減方帳

壹冊

一 杉山源吾上屋敷取毀

御沙汰一件并諸書付共

右ニ付図式 拾三枚

拾九通

ろ 印

〔朱書〕 明和八年

〔存〕 可差出

一 猿賀山深砂権現御宮

壹冊

- | | |
|-------------------------------|-----|
| 御取建御用留書 | |
| 同年 | |
| 一 御上屋鋪御普請御用留 | 老冊 |
| 明和八年 | |
| 一 御上屋鋪御普請惣御入用金高調帳 | 老冊 |
| 同九年 | |
| 一 明和七年八月 | 式冊 |
| 御上屋鋪御類焼二付 | |
| 御上屋鋪并四ツ目柳嶋 | |
| 御屋敷御普請調帳 | |
| 同年 | |
| 一 御上屋敷御普請調帳 | 式冊 |
| 外 右二付御入用調書式通 | |
| 同年 | |
| 一 江戸 御上屋敷御普請御用留帳 | 老冊 |
| 安永四年 | |
| 一 江戸 柳原御屋敷御取立二付於青森右木柄切組二付御用留 | 老冊 |
| 一 若殿様御住居柳原江 | 老通 |
| 御取建二付御沙汰書之写 | |
| 一 寛政年中御取建之 | 老冊 |
| 御場所取調帳 | |
| 一 寛政年中の新規御取建二相成候書付 | 老冊 |
| 寛政三年方同十一年迄 | |
| 一作事方御用留 | 四冊 |
| 一 在宅之諸士御引上被仰付候町割帳并向々申出書付御沙汰書共 | 拾六通 |
| 寛政十年 | |
| 一 在宅以前町割古家数調帳 | 老冊 |
| 一 御家中禄高を以建家坪数定之図 | 四枚 |
| 享和二年方文化元年迄 | |
| 一 百沢御修覆御用留 | 老冊 |
| 文化二年方同三年迄 | |
| 一 長勝寺革秀寺御修覆御用留 | 式冊 |
| 同年 | |
| 一 大間越町奉行所御普請 | 老冊 |
| 尔付白神沢二而杣取材木并諸懸物代料共諸払勘定帳 | |
| 同年 | |
| 一 大間越町奉行所御普 | 老冊 |

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|--------------------------------|--|-----------------------------|----------------------------|---|-------------------|--------------------|---------------------------------------|---------------------------|-----------------------|-------------|----------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|---------------|--|
| 請二付白神沢ニ而杣取
方惣勘定帳
同年 | 一 大間越町奉行所御普
請惣勘定仕上帳
文化五年 | 一 大間越町奉行所御取建
直仕様積惣調帳
外 御普請之義ニ付書付
六通并図式式枚
同九年 | 一 大川端 御殿御取建
御入用大部調
同年 | 一 柳原 御殿御取建御
入用大部調
同年 | 一 柳原 御殿江御徙移
尔付御入用大部調
外 右ニ付書付 式通
文政四年 | 一 上家屋敷拝領調
同十三年 | 一 薬王院御普請御取建
御用留 | 天保六年
一 此度於長勝寺
御影堂御取建御用留
弘化二年 | 一 江戸 御上屋敷御長屋
賦
嘉永五年 | 一 延宝已来御武具藏
御普請一件書取 | は 印
元禄九年 | 一 志懸江就 御参詣
御用留書
同十二年 | 一 若殿様志懸江就
御参詣御用留書
元禄十二年 | 一 若殿様百沢志懸江
御参詣御行列帳
同十四年 | 一 屋形様志懸江
御参詣御用留書
正徳二年 | 一 御継目初而 御下向ニ付 | 卷冊
卷冊
卷冊
卷冊
卷冊
式冊
卷冊
卷冊
卷冊 |
|---------------------------|--------------------------------|--|-----------------------------|----------------------------|---|-------------------|--------------------|---------------------------------------|---------------------------|-----------------------|-------------|----------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|---------------|--|

寺社方 御参詣并
御成御規式帳

元文元年

一 御入部以後百沢并高岡

御社参其外遠方

御成之節御行列帳

元文元年

一 御入部以後所々

御社参 御仏参并

御成御行列帳

同年

一 御入部以後 八幡御祭

礼二付二之御丸巽御槽江

被為 入御行列帳

宝曆六年

一 御繼目初而 御下向二付

寺社方 御参詣并

御成御規式帳

同七年

一 東照宮江御神鏡被

献候御行列帳

宝曆十年

一 御省略百沢下居宮江

御社参帳

一 若殿様御下向後

老冊

老冊

老冊

老冊

老冊

老冊

老冊

御社参 御仏参并所々江
御出之儀二付伺之通被

仰付候覚

安永三年

一 御入部以後所々

御社参 御仏参 御成

御行列帳

老冊

〔(朱書) に印
三之丸江不残〕

一 瑞巖院様御法号

一 顕休院様右同

一 戒香院様右同

一 体孝院様御法号

外 御法号御引替御用

状并書抜共 三通

一 上仙院様右同

一 有孝院様右同

一 寛広院様右同

(半丁白紙)

一 清光院様御法号

一 梅応院様右同

一 円受院様右同

一 昌善院様御法号

一 智幻院様右同

老枚

一 真寿院様右同	壹枚	御法事請定并御逮夜光	
一 彰伝院様右同	壹枚	明三昧請定共	
(半丁白紙)		一 明光院様一周御忌御	壹通
(朱書)		法事請定	
(是を潰)			
一 津梁院様御法事受定	壹通		
右二付遍照尊院より之書状			
壹通		ほ 印	
一 妙心院様右同	貳通	慶長十一年	
右二付遍照尊院より之		一 為信公愛宕山教覚院	貳通（天部貼紙「此所可差出事」）
書状 壹通		江相州綱広之劔	
一 妙心院様靈牌支証	壹通	御寄附二付同寺住僧祐海	
一 瑞巖院様御法事請定	壹通	御国家安全御武運長	
右二付遍照尊院より之書状		久祈念之呈書	
貳通		慶長十九年元和八年同十年	
一 上仙院様右同	貳通	一 熊野大権現江	四通
右二付遍照尊院より之		信牧公御武運長久	
書状 貳通		御国家安全御祈念之（天部貼紙痕）	
一 有孝院様右同	壹通	御願書并尾崎坊津輕	
(半丁白紙)		師職霞所宿坊等之訳	
一 涼松院様御法事請定	壹通	書付	
一 瑤池院様右同	壹通	寛永二年寛文元年	
一 明光院様右同	壹通	永平寺西方寺久々退	貳通
一 明光院様御靈牌建立	壹通	電二付派取建拾ヶ年諸	
支証		役 御免之儀二付百沢寺江	
一 明光院様御位牌開眼	貳通	信吉公様 御印之写并	
		同寺江社領御寄附	

信政公様 御印之写共

外 百沢寺 御寄附帳之

写老冊 最勝院方之

添書老通

寛永八年

一 遍照尊院寺領并不残

此方様江給候ニ付後住差

置方其外以後同寺再

建申付方共

延宝二年

一 御前江差上候扣御領分

惣山伏帳

同五年

一 撰州路矢田部郡坂

本村医王山広巖宝勝

禅寺桶奉加出銀之覚

延宝七年

一 長勝寺出入双方方之書

付之写并右ニ付関三ヶ寺江

能登之捻持寺方差越候

書中之写共

外ニ 右ニ付書付五通

一 陸奥国天台宗廻状之写

元禄元年

老通

老冊

老冊

式通

式冊

一 御二方様并御家中方

御寺江差上物之覚

一 両御寺年頭初而

御仏參之節被猷方之

儀ニ付書付并書取共

一 御広敷女中方御香典

差上候一件

文化三年

一 長勝寺革秀寺江

御參詣 御名代御猷

上物之覚

元禄二年

一 弥勒寺方奉加帳并

状之写共

同年

一 知足院御普請取扱方

不宜候ニ付牧野備後守様

於御宅閉門并遠嶋追

放被仰渡書

元禄二年方同三年迄

一 羽黒山山伏説書并三宝

院方相渡候山伏法式之

書付山伏宗者真言宗ニ

紛無之儀共

老通

老冊

四通

老通

式通

- | | |
|---------------|----|
| 寛政十年 | |
| 一 螺貝之由来 | 老通 |
| 元禄四年 | |
| 一 高野山江為御茶湯料 | 老通 |
| 米式拾石年々御寄附 | |
| 被遊候儀二付御書付 | |
| 元禄四年方同五年迄 | |
| 一 悲田宗御改二付感応寺 | 老通 |
| 法花寺誕生寺方替宗 | |
| 之儀二付 | |
| 御公儀寺社御奉行所江 | |
| 差上候証文之写 | |
| 外 寺社役并本行寺方証 | |
| 文并案文共四通 | |
| 同五年 | |
| 一 注蓮寺 御目見被 | 老冊 |
| 仰付候覚書 | |
| 同七年 | |
| 一 遍照尊院奉加之儀二付 | 四通 |
| 願書付 | |
| 外 凶老枚 | |
| 元禄八年 | |
| 一 修験役銭取候儀二付醍醐 | 三通 |
| 三宝院方之書付并大行院江 | |
| 相渡候条目御用状共 | |
| 同十一年 | |
| 一 知恩与申出家 | 老冊 |
| 公儀御尋之深川妙栄寺 | |
| 日泰二似寄候二付御詮議 | |
| 之一件 | |
| 同年 | |
| 一 上野津梁院之寺引ケ | 老枚 |
| 申候二付 御廟所 | |
| 御改葬二付図 | |
| 元禄十二年 | |
| 一 深川妙栄寺日泰御 | 老冊 |
| 尋之者人数改帳 | |
| 同十二年 | |
| 一 南都東大寺龍松院 | 式通 |
| 奉加之儀二付書付并宝物 | |
| 覚書共 | |
| 外二 右二付書付六通 | |
| 同十四年 | |
| 一 南都蔵松院奉加帳并 | 三通 |
| 右奉加二付外題書之覚 | |
| 奉加出銭覚共 | |
| 外二 蔵松院書付式通 | |
| 元禄十四年 | |
| 一 北野神社八百年忌 | 老通 |
| 御領分中相对勸化 | |

聞届候旨十河能探方江
申遣候書付

同十五年

一 東照宮并神明八幡御館
神熊野御神事之

老冊

儀二付覚書

同年

一去ル亥子両年当御領

老通

中就不作及餓死候者

共為吊大施餓鬼被

仰付候二付被仰出之御

書付

外 餓死之者吊帳老冊

へ 印

宝永五年

一 白狐寺御建立之儀二付

六通

貞昌寺隠居入替方申

出書付并申渡書右惣御

入用目録鳥居図共

外 御寄附之御書付老通

宝永五年

一 於 御城三日市太夫次郎江

老冊

御料理被下奉加願之通

其上永代御供料被

仰付候一件

同六年

一 高野山遍照尊院以
使僧奉加願之一件

老冊

外二 奉加願書付老通

宝永六年享保十一年同十五年

一 青森安定寺儀西派

拾通

宗門二改候儀二付書付并

御門主様役人より之

書簡共

宝永六年

一 江戸四ヶ寺御国真言五ヶ寺江

老冊

申来候色衣条目之写并

廻状写

外 津輕真言新義諸寺院

中 老冊

同年

一 常憲院様江 御献上

老通

御石塔藏 御名書

享保元年

一 有章院様江 御献上

老通

御石塔藏 御名書

宝永七年

一 高野山遍照尊院後

四通

住之儀二付御書付

御靈膳等差上方不取扱

之儀ニ付御詮儀牛込

宗参寺方引取せ度旨

申来候一件其外高

徳院家来変死一件共

と 印

正徳四年享保十年方同十二年迄

一最勝院智光

上々様御封印之御願書

開封同寺秘仏無断

京都江持参其外種々

御詮儀一件

享保十一年

一御神弓御規式帳

同十二年

一 百沢寺方岩木山并当寺

支配堂社棟札写

同十六年

一三新田寺社除地覚帳

一羽黒山延命院差上物

之儀御例書

享保十七年

一羽黒山在庁延命院方

差上候御祈祷之板札

四拾四通

巻冊

巻冊

巻冊

巻冊

四通

津軽寺与脇書寺号

之儀ニ付口上書并寺社奉行

より使僧江口上之趣書付

共

享保十七年

一御先祖

為信公様羽黒山延命

院江津軽寺与申寺号

被下置候儀ニ付使僧江相

尋候口上之写

同十二年

一神宮寺無住ニ付上野

所化之内方後住之儀ニ付

御門主様方津梁院迄

御剪纸并神宮寺隠居

尔付後住并袋宮寺後

住之儀ニ付御剪纸共

延享二年

一永平寺化主方本山

高祖五百年忌并山門

羅漢像再建勸化之

儀ニ付書付

寛延三年

一弘前并在々浦々氏子

修覆社堂帳并建立社

巻冊 (天部貼紙痕)

式通

巻冊

式冊

堂帳共		
同年		
一 五穀神宮御建立之儀二付 幡隨院方之書付		式通
宝曆三年		
一 忘懸不動尊御出汗之 旨国上寺方申出書付		壹通
同六年文化七年		
一 青森昆沙門取扱杜家 修驗繰合御仕分一件		七通
宝曆七年		
一 宝積院照源寺境内 相改候諸書付		五通
外二 図式三枚		
同九年		
一 御領分中大小之神 社書上之儀二付調帳并書 付共		廿四通
宝曆十年		
一 御上屋敷地主大明神 意趣		老冊
ち 印		
明和二年		
一 御建立之神社仏閣并		三通
諸国一派談林所之寺院 公義方御改二付江戸弥 勒寺方之御書付并最勝 院方書上之写口上之写共 明和六年		老冊
一 葉王院寺庵成就院儀 為修学比叡山江罷登候 処西教寺隱居存命 之内隨身給仕為致度 尔付被下置度旨願申出之 儀二付		四通
同年		
一 葉王院寺中成就院儀 三ヶ津御屋敷出入 御免之儀二付書付		
同七年方寛政三年迄		
一 両御寺御儉約中拜 礼御用捨調		老冊
安永五年		
一日光 御宮 御靈屋 御拜礼一件		老冊
外 御靈屋御絵図式枚		
寛政八年		
一 右同		
但 内老冊年号無		

安永六年

一 宗門改之儀ニ付御開役方

老通

差出候別紙

一 伊藤伊豆守領分宗門

老冊

帳目録

外 右ニ付書付三通

安永七年

一 惣祿之寺社方拾ヶ寺江

老通

被仰渡候御口達

但 僧侶修験社人共猥

不可有他国義也

同年

一 長勝寺山門上梁文

老冊

天明年中

一 教音院様御正当御忌

老通

日被仰出御家老中

書拔

同四年

一 志望之者 御吊被

式冊

仰付候一件

天明五年

一 深浦蔵巖寺先住聞

六拾八通

岌儀御片付并誓願寺

其外在寺三人御片

付被仰付候一件諸書

付

一 久渡寺建立年月并

老冊

什物留

寛政四年

一 久渡寺境内之儀ニ付縁起并

三通

書付寺社奉行添書付共

一 僧正官兼帯之儀ニ付

四通

御問合書并来状共

寛政五年

一 最勝院権僧正拜任ニ付

老冊

御挨拶向之儀留帳

万延元年

一 最勝院住職被仰付

式通

候ハ、密乘院継目并権

僧正拜任可致候様

此方様方兼而被仰付

置候様致度旨勘修寺

御門室方来状写并御

例書共

寛政五年

一 貞昌様 御尊牌御

三冊

安置并

瑞祥院様 栄源院様

御尊影御寄附其外

年頭 御逆月

一 甲州御嶽山社役人
勸化之儀二付書付
八通

一 笠原近江殿親意休儀
於薬王院
老冊

御先代様侍座如已前
被仰付候一件
同九年

一 御家老衆病死之節
御香奠被下置候書拔
老冊

同年
一 百沢寺 御出汗之儀二付
申出書付
老通

天保十一年
一 御五方様御祭事之儀
尔付学問所小司方之御祭
事書并右之儀儒者江問
拾五通

合書其外長勝寺申出書并
内状御沙汰書共
(貼紙)

〔享保十二年〕
一 勤修寺宮様方最勝院
義円江権僧正勅許之旨

村上儀右衛門方申来候御用状
之写
老冊

り印

嘉永四年
一 於常福寺 興国靈神
之 御神号御供養
式冊

御祭礼并右二付御備物
帳共
嘉永四年

一本行寺日威弟子御国
出生野呂清作弟下総
国本遠遠寺住職日栄
老通

御国本行寺後住願
右二付内状并御用書共四通
同五年

一 薬王院長柄傘御玄闕
迄持込候様願書付并御
目付申出書其外書取
八通

御沙汰書共
同七年
一 青森町金次郎同所
石郷岡直次郎身代之
五拾三通

為稻荷宮江心願一件
詮儀并其外諸書付共

安政三年
一 円明寺由緒書并是迄
式拾五通

一 青森旧記之写堂社建 式冊(天部貼紙痕)

立記并毘沙門天古記写共

一 妙見社取建 老冊

一 横内村妙見宮最勝院 五通

別当二而 御寄附日蓮

宗二而相勤候儀二付最勝院

より諸書付并寺社役方添

書群藏方之紙面共

一 青森田川東庫持宮觀 老通

音堂引越 御免願之儀

尔付書付

右二付書取老冊并絵図老枚

一 青森正覚寺弘前誓 六通

願寺末寺之処本寺江無

断入院致候僧長含詮

儀之書付

一 奈良岡出雲田方繰合 七通

御詮儀一件

一 京徳寺追放之儀二付関 四通

三ヶ寺江届向一件

一 五重塔江納置候宝劔御 式通

詮儀之儀二付申出書付并書

取共

ぬ 印

一 遊行上人御領内江參候 三通

節之覚并御伝馬被下方

覚書南部二而上人江御馳

走御伝馬差出候覚書共

貞享四年

一 遊行上人廻国二付弘前 式冊

御逗留中諸事留書并

書拔共

正徳三年

一 遊行上人廻国二付御用留書 式冊

享保十三年

一 右同 老冊

延享元年 老冊

一 右同 老冊

同年 老冊

一 遊行上人就参向諸事 老冊

御馳走御挨拶之覚帳

明和八年方同九年迄

一 遊行上人参向二付御用留 六冊

書并仕懸御用留書御使

者御馳走一件共

寛政三年方同四年迄

一 遊行方御用留書并仕 三冊

懸申付候御用留書共

〔史料紹介〕 弘前藩庁における文書管理帳簿の紹介と翻刻（その1）（山田）

- | | |
|---------------|----|
| 嘉永元年方同二年迄 | |
| 一 右同 | 三冊 |
| 外二 遊行由緒并宝物由来 | 壹冊 |
| る 印 | |
| 寛政三年 | |
| 一 嵯峨法輪寺勸化二付巡 | 貳冊 |
| 行之節取扱之覚并右留 | |
| 書共 | |
| 右二付諸書付拾通 | |
| 貞享四年 | |
| 一 木食上人廻国之儀二付書 | 壹通 |
| 付 | |
| 延享四年 | |
| 一 善光寺勸化靈山院御 | |
| 領内巡行一卷帳 | |
| 同年 | |
| 一 善光寺勸化靈山院御 | 壹冊 |
| 領内巡行御挨拶御馳 | |
| 走之覚帳 | |
| 同年 | |
| 一 信州靈山院御領内巡 | 貳冊 |
| 行開帳勸化之節取扱 | |
| 之覚 | |
-
- | | |
|--------------|----|
| 延享四年 | |
| 一 信州善光寺勸化巡 | 壹冊 |
| 行御用留帳 | |
| 外二 善光寺如来江御最花 | |
| 被差上候二付右請取并靈 | |
| 山院より勸金七百兩上 | |
| 野御坊官中江被差登候 | |
| 尔付寺社奉行より之手 | |
| 形案文諸書付手紙共壹 | |
| 袋 | |
| 天明元年方同二年迄 | |
| 一 善光寺方御用留書 | 壹冊 |
| 同二年 | |
| 一 仕懸申付候部善光寺方 | 壹冊 |
| 御用留書 | |
| 天明二年 | |
| 一 靈山院巡行二付御使者 | 壹冊 |
| 御挨拶御馳走其外御 | |
| 取扱向江戸江申遣候御用 | |
| 留書 | |
| 右二付諸書付并手紙共壹袋 | |

【史料2・4 整理番号 2009H4】
 (表紙)

〔朱書〕

六番題帳

〔内題〕

〔六番題帳〕

〔小口書〕

〔六番題帳〕

い 印

寛文三年

一御武具御蔵御道

具之帳

元禄三年

一於江戸火矢下拵之

覚帳同細工道具買

物之覚

文政三年

一国友東四郎鉄炮卷

方積書

一武器所持之族申出

書付

安政二年

一甲冑御手入年中調

右二付書付 式通

同〔五〕年

一素人手甲冑方調下書

文政六年

一佐々木太左衛門儀大坂

表御用相済江戸表江

直二罷下御鉄炮御手

入等之義二付御沙汰書

ろ 印

嘉永七年

一臘舘獸略説

右二付書付并手紙共 式通

一山辺玄養於江戸表

病死名跡相続御内

意書

一平沼養敬一橋様御館

入之儀

文政十一年

一御医者御坊主衆等

夏中足袋願有無

公辺御問合

弘化二年

一一粒金丹御伝法相済

候面々江相渡候御演説書

一一粒金丹調合御伝法

相済候医者名前前調

老封

老通

老冊

老通

三通

老通

老冊

八冊

右二付古郡道作より之 紙面并書取共 六通		
安政三年		
一人參培養并製法書	壹冊	
一御松囃子組并御囃 子組共	貳通	
寛保四年		
一謠方留書覚	壹冊	
文化二年		
一御役者長屋御取建 発端詮義書付	壹冊	
文化七年		
一御楽屋諸色御定渡 同十二年	壹冊	
一御役者方諸書付江 御用人衆苗字無様	四通	
附称呼共大寄合拾 以上江様附候部御日記		
役方伺書并御役者 林只九郎御用談席江 不罷出候義二付答書 野添織三郎御内 意書共		
は 印		
一御即位御使者相 勤候節江戸京都方 之御用状留		壹冊
一京都江諸家様御使 者供連并内状		壹冊
一勅答之節并献上濟 翌日廻勤之節供連		壹冊
一常廻勤供連		壹冊
一御太刀御献上之節 行列		壹冊
但 御即位之凶者別 櫃ぞ印二有之		
安永元年		
一京都御使者勤方之 覚并御入内御行列帳 文化十四年		貳冊
一御即位御祝儀御使 者御用留		壹冊
同年		
一御即位御使者相勤 候節京都方御国江戸江 之御用状扣 弘化四年		壹冊
一御即位御祝儀御使 者御用留		貳冊

同年

一御即位御祝儀御使者

老冊

行列帳

外二 禁裏御所并准后

御所献上物之凶共 三枚

御使者恩田帯刀被
遣候覚
元文五年

老冊

に 印

一御着城恐悦之儀於

拾老通

江戸表

侍従様并 上々様方

御使者江御返答書

内 岩城伊予守様御奥様

御返答書も有之

一佐竹様方御使者之

老冊

一御参勤御延引之儀

式通

尔付御老中様江御使者

勤書

延宝三年

一江戸 御着二付御使者

老冊

方々江被遣候御書之覚

同年

一御定之外方々江被遣候

老冊

御使者御進物之覚

天和二年

一土并能登守様御在

老冊

所越前大野江就御入部

一從佐竹様御使者之

老冊

御使者恩田帯刀被
遣候覚

元文五年

一御着城御使者御返

答書

宝曆十年

一右同

寛政四年

一御着城二付御使者

務書御返答書

天和二年

節御規式

寛文元年方享保二十一年迄

一御入部二付佐竹様方

老冊

之御使者調

寛文元年方明和二年迄

一御代々様御入部并

老冊

佐竹様御入部御使者

御取替之調

天和二年

一從佐竹右京様御使

式冊

者参候節可相勤覚帳

同年

- | | |
|---|----|
| 節御規式 | |
| 貞享元年 | |
| 一 從佐竹右京太夫様御使者之節儀式帳 | 壹冊 |
| 貞享三年 | |
| 一 從佐竹右京太夫様御使者之節之覚帳 | 壹冊 |
| 元禄三年 | |
| 一 從秋田御使者参候之節諸色之覚 | 壹冊 |
| 同七年 | |
| 一 佐竹修理太夫様方御使者御馳走一卷 | 壹冊 |
| 同年 | |
| 一 從久保田御使者諸色覚帳 | 壹冊 |
| 元禄十二年 | |
| 一 若殿様御入国之節從久保田御使者諸色覚帳 | 壹冊 |
| 同年 | |
| 一 若殿様御入部二付久保田方御使者一卷 | 壹冊 |
| 右二付書付 壹通 | |
| 同年 | |
| 一 從佐竹右京太夫様御使者参候二付御馳走之覚 | 壹冊 |
| 享保十二年 | |
| 一 御下向二付佐竹石見家来坂藏之丞使者二罷越候二付覚 | 壹冊 |
| 元文元年 | |
| 一 於久保田御使者勤方并御馳走之覚 | 壹冊 |
| 同年 | |
| 一 於久保田御使者并御馳走之覚帳 | 壹冊 |
| 外二 御城内御座敷略図并御使者宿略図共 四枚 | |
| 同年 | |
| 一 於秋田御使者参候節之覚 | 壹冊 |
| 延享元年 | |
| 一 佐竹右京太夫様方御悔之御使者於碇ヶ関致御取次候二付御料理被下候別帳并右御使者参候二付一卷留帳共 | 貳冊 |
| 寬延二年 | |
| 一 佐竹右京太夫様御卒 | 壹冊 |

去二付御使者勤方之覚
同四年

佐竹様江御使者之
例書 四冊

一久保田江之御進物取扱
勤方并御馳走之覚

文化四年
一佐竹様方御使者森川
藤兵衛參着御用留

老冊

同年

一佐竹左兵衛督様江御

老冊

使者勤方并御馳走之覚

一佐竹右京大夫様江之

式冊

外二 笠原武左衛門御進

物取扱勤方之覚 壹通

御使者勤方并御馳
走之覚

宝曆九年

同十二年

一秋田久保田江御目付様

老冊

御下向御境目被成御

一佐竹右京大夫様御死
去二付為御悔大組物頭

老冊

巡見候二付其節御使者

進藤太郎左衛門御使者
被仰付候御用留

等被遣候哉之義聞合

文政四年

申来候一件

一当 御下向大間越口

天明五年

老冊

一佐竹右京大夫様御

御通行二付佐竹様江
為御挨拶御使者并

卒去二付秋田久保田江

御使者寄合館美文内

外二 佐竹様江御進物請取
書并森川東兵衛方之

被仰付右御使者二付

来状其外久保田表江

御用留

御用被仰付候義二付成田

同年

老冊

一佐竹右京大夫様御卒

平吉覚書共 五通

去二付御使者勤方之覚

同八年

- | | | | |
|---|----|---|-----|
| 一 佐竹右京大夫様江
御家老御用人御留
守居御逢二付一件
文政八年 | 式冊 | 使者江町奉行北原惣藏
挨拶向近江殿方御渡
被仰付候手扣并佐竹
大炊之助手扣共
天保五年 | |
| 一 笠原八郎兵衛殿方秋田
家老江之文通右二付
同所方返簡并御口上
書之写
同年 | 沓冊 | 一 秋田大館表凶作二付御
米拝借致度前小屋
上総罷越候間北原惣藏
面会之趣并進物之儀二
付申出書付其外諸
書付共 | 拾五通 |
| 一 笠原八郎兵衛方正田
斎江被遣候書面
天保四年 | 沓冊 | 一 秋田大館表江御払
馬并被進馬御答礼二
付御挨拶之書状
元文元年 | 式通 |
| 一 佐竹様江御内使者
御用留
天保五年 | 沓冊 | 一 桜庭半兵衛御使者久保田江
相勤候一件
(貼紙) | 沓冊 |
| 一 佐竹様方御使者之節
御城中御住居取并御
郭中御飾付之覚
同年 | 沓冊 | 〔天保五年と見る〕
一 佐竹様方御使者之節
御使者宿方登
城其外帰国迄之御規式
同五年 | 沓冊 |
| 一 大館表不作二付御米拝
借願之儀二付大館方之 | 三通 | 一 佐竹様御使者取扱帳 | 沓冊 |

ほ 印

一 松前志摩守様方津出 沓通

米御無心之義二付書状

一 松前志摩守様方御米 式通

御無心之儀尔付青山

藪右衛門御使者口上書并

出米到着之御謝礼

口上書共

右二付書付 沓通

一 従松前御使者参候 沓冊

御規式帳書拔

天和二年

一 従松前兵庫様 沓冊

御入国御祝儀御使者

参候二付御馳走之覚

元禄八年

一 松前志摩守様方御米 沓冊

御無心之義二付御使者

参候二付覚帳

元禄十年

一 御発駕二付松前志摩守様 沓冊

方之御見舞御使者江

於盛岡主膳宅御料理

被下候覚

同十五年

一 従松前志摩守様御米 沓冊

御無心之御使者酒井

伊左衛門到着之節之覚

同年

一 松前志摩守様方之 沓冊

御使者於竹内感六

方御料理被下候覚

右二付書付 沓通

正徳四年

一 松前志摩守様御縁女様 沓冊

御領分中御通二付委細

申付候帳面

同五年

一 松前志摩守様方御 沓冊

使者御用留

但 松前橘太郎様御婚

礼御調被成候二付御使者

被遣候右御返礼之御使

者一卷之事御馳走帳

与有之

享保六年 沓冊

一 松前志摩守様御死

去被成候二付御悔之御使

者被遣候二付御返礼之

御使者松前伝吉様方

之御使者江御馳走一件
元文元年

一 御入部二付松前志摩守

様方御使者御馳走

一卷

同六年

一 松前志摩守様御下

向二付御使者被進候

一卷留書

寛保三年

一 松前志摩守様御死去

被成候二付御悔之御使者

被遣候二付御返礼之御

使者一卷并右御使者

被遣候二付御返礼之御

使者松前若狭守様方

之御使者御馳走一卷共

同年

一 松前様御死去二付

此方様方御悔之御使者

被遣候二付為御返礼松前

様方御使者参候節右

御用一卷書拔

寛保三年

一 松前若狭守様御領

式冊

壹冊

式冊

壹冊

壹冊

分御通二付御使者御
進物等別帳

同年方同四年迄

一 松前若狭守様御家督

御相続二付松前江御使

者被遣候御用一卷寛

同四年

一 松前若狭守様御入部

尔付御使者被遣候御返

札之御使者参候一卷

御留書并右御使者

参候一卷共

延享元年

一 松前若狭守様方御悔

之御使者於油川村致

御取次候二付御料理

被下候別帳并右御使者

参候二付於油川村御

取次申付候一卷留帳共

右二付書付 壹通

同三年

一 松前若狭守様御参勤

尔付於三馬屋青山御

使者并御進物御用留

同四年

壹冊

式冊

式冊

壹冊

- 一 松前若狭守様御下向
尔付右同断
寛延四年
壹册
- 一 松前若狭守様御參勤
尔付右同断
宝曆二年
壹册
- 一 松前若狭守様御下向
尔付右同断
同十一年
壹册
- 一 松前若狭守様御參勤二付
右同断
同十二年
壹册
- 一 松前若狭守様御下向二付於
青森三馬屋御使者御用留
同年
壹册
- 一 松前若狭守様御下向
御領分御通二付御使者
御進物別帳
明和二年
壹册
- 一 松前外記様參府二付
於三馬屋青森御使者
御進物一卷御用留
同年
壹册
- 一 松前外記様御參府
御領分御通二付御使者
壹册
- 御進物別帳
同二年
壹册
- 一 松前若狭守様御死去
被成候二付御悔之御使者
被遣候二付御挨拶之
御使者一卷
明和三年
貳册
- 一 松前志摩守様方御使者
被遣候尔付御馳走方
御取扱一卷
同年
壹册
- 一 松前志摩守様御家督
相濟御下向御領分
御通二付御取扱御用留并
御領分御通二付御使者
御進物別帳共
同七年
壹册
- 一 松前志摩守様御參勤
尔付於三馬屋青森御使者
御進物一卷御用留
明和八年
三册
- 一 松前志摩守様御下向
御領分御通二付御取扱
御用留并御使者
御口上之覚共
御口上之覚共

御下向之節御領分御
通御取扱御用留

文化二年

一松前若狭守様御参

府二付御領分御通御

取扱御用留

同四年

一松前若狭守様若殿様

御登二付御用留

文政六年

一松前主計頭様御内室并

御舍弟和佐五郎殿

御下向御領分中御

通二付御用留

文政十年

一松前志摩守様御下向

御用留

一工藤勝弥松前江御使

者相勤候一件

嘉永六年

一松前伊豆守様御隠居

志摩守様御死去二付

桜庭助吉御使者相

勤候一件

へ 印

宝永元年

一御城米之儀二付羽州

酒田方江戸迄東海

浦々江相廻候御勘定

奉行中覚書

宝永元年

一御廻船之儀二付久保田

町奉行方飛脚到着

之覚

一浦御触之写并請取書

申送写書

宝永六年

一禁裏御用木大坂江

相廻候二付浦触

享保四年

一日之丸御船之儀二付

公義御書付之写

同年

一於深浦 御城米船

破船一卷江戸江申遣候

御用状之扣并神保

甚三郎様御代官所

御城米東廻送状写共

式通

老冊

老冊

老通

老冊

式冊

一 御役人衆下向二付御
馳走帳

式冊

同年

一 御城米船頭利三郎

式冊

船破船二付酒田御役人

中江差上候証文写

同六年

一 御城米船頭撰州伝

式冊

法網屋平兵衛乗船

深浦於大間破船為

見分鈴木小右衛門様御

手代嶋野富右衛門殿

清水曾右衛門殿被下

候二付右兩人差出候

諸証文写并右被罷

下候御用一卷江戸江申

遣候帳面扣共

享保六年

一 御城米船頭撰州伝

式冊

法網屋平兵衛船深浦

於大間破船右船頭

持参之船中御條目并

送状之写

享保六年

一 深浦於大間 御城米

式冊

船破損御役人下向二付
御馳走帳

同年

一 清水曾右衛門殿江差

式冊

出候御料理献立并

深浦大間越日之丸御

船御献立帳共

同年

一 於深浦大間御城米

式冊

船破損御用留并従深

浦弘前江之御用状扣共

享保八年

一 於三馬屋御城米就

式冊

打捨候今井源五右衛門

桜庭太郎左衛門取扱候

御用留

同年

一 於三馬屋御城米船

式冊

就御米打候御用留

同年

一 於三馬屋御城米打

式冊

捨候尔付弘前二而之

御用留

同年

一 於三馬屋御城米打

式冊

捨候砌船頭持参之
御條目并送状

享保八年

一於三馬屋御城米船

就御米打候^(稱・脱)江戸表江

差登候御用状扣

同年

一於三馬屋湊日之丸

御印船損從新湯

御役人衆下向尔付

御馳走帳

同九年

一御城米船荷打破船二付

公義御役人下着之節

覚書

右二付書付 老通

宝曆三年

一公義御城米積船

行衛不相知候義二付

浦御触書之一卷

右二付諸書付 六拾式通

文政十年

一御廻米初積船行

衛不相分

公義御浦触之儀

老冊

老冊

老冊

老冊

老冊

尔付申出書付之写

と印

一難破船之節御締向

之儀二付

公義御書付之写

一船中江相渡候艦之間江

張付置候

公義方被仰出候五ヶ条

一佐竹様御雇船於赤石

浜破船取扱之処御目

録被下候義二付町年寄

方之書付

一午ノ年御城米大坂

着御雇船頭証文之写

一上乘誓詞前書并上乘江

申渡之覚書共

万治二年

一大坂天神橋難波橋

材木値段付之儀二付書付

寛文四年

一諸商物箇数改并役銀

受取様申渡書

同年

一三馬屋沖横目江申渡候

老通

老通

老冊

老通

老通

老通

- | | |
|--------------|----|
| 御定目 | |
| 同五年 | |
| 一 小湊山二而材木沖口出 | 沓通 |
| 切手写 | |
| 同七年 | |
| 一 浦々江船出入之時分 | 式通 |
| 面役老人二付入人者銀 | |
| 沓文目出人者式文目 | |
| 之処此末自他共 | |
| 御赦免被仰付候尤 | |
| 船頭水主者式文目宛出 | |
| 可申義二付御書付 | |
| 寛文七年 | |
| 一 公義之船者不及申諸 | 沓通 |
| 廻船共逢難風時者 | |
| 助船を出し可申儀并 | |
| 其外船法御条目等 | |
| 之儀 | |
| 同十年 | |
| 一 沖之口出米材木諸荷 | 沓通 |
| 物吟味之義并御役 | |
| 紛等之儀二付御条目 | |
| 三厩御横目江御渡 | |
| 御書付 | |
| 寛文十二年 | |
| 一 御手船御船頭方御 | 沓冊 |
| 船守迄御扶持方共 | |
| 調帳 | |
| 延宝五年 | |
| 一 金井湊沖口酒并多 | 沓通 |
| 葉粉御役銀当年方 | |
| 御定被仰付候二付同所 | |
| 御横目中江之御書付 | |
| 同八年 | |
| 一 敦賀着上乘江申渡 | 沓通 |
| 口上書 | |
| 延宝九年 | |
| 一 御藏米船上乗之者江 | 沓冊 |
| ヶ條書二而申渡扣帳 | |
| 正徳二年 | |
| 一 船道添 御高札相建 | 沓冊 |
| 候所々之覚 | |
| 同年 | |
| 一 添 御高札相建候二付 | 沓冊 |
| 陸奥国松前浦々之者 | |
| 印形帳 | |
| 同三年 | |
| 一 船道添 御高札御案 | 沓冊 |
| 文相廻候二付御用留 | |
| 右二付村々名主証文并青森 | |

町奉行方之書付共 拾三通
宝曆五年

一 鯨ヶ沢湊破船難船其
外御用扣留帳

享和元年

一 三馬屋湊口出入

御印帳

文化三年写方被仰付候

一 一言丸乗船其外乗組
人数

同年右同

一 一言丸乗船其外船
具帳

文化三年写方被仰付候

一 乗船其外材木金物
仕分

一 大船製造方有来と

相違致候ハ、言上可致旨

公義御書添

ち 印

一 鯨ヶ沢町諸役御免并
相勤候義書取

一 野内御関所所替之
儀ニ付存念書并積書共

儀ニ付存念書并積書共

右ニ付御関所之図 貳枚
一 公義衆御通行之節

大筒玉目於尋之義ニ付

青森大筒方并長谷川

小四郎方之添書共

一 津輕平八郎罷下り候節

不束之義有之金井ヶ沢并

青森深浦大筒方御

尋ニ付答書并長谷川

小四郎竹森六之助添

書共

宝永八年

一 所々湊并御関所出入
物御役改帳

正徳二年

一 所々湊并御関所出物
御役改帳

同六年

一 御関所出入物御役帳
但 冊之内ニ米大豆津出
之御書付并書状共六通
有之

同年

一 御関所并湊出入物
御役帳

御役帳

御役帳

御役帳

御役帳

御役帳

御役帳

貳通

五通

三冊

三冊

壹冊

貳冊

- 但 冊之内ニ書状三通有之
外ニ 米大豆津出之御書
付并書状共 三通
正徳六年
一 湊出入物御役帳 沓冊
寛延四年
一 碇ヶ関口出入物御役
改帳 沓冊
同年
一 大間越湊出入物御
役改帳 沓冊
同年
一 今別右同 沓冊
但 冊之内ニ書状三通有之
寛延四年
一 野内出入物御役改帳 沓冊
寛永方寛文迄
一 青森派御取建之儀ニ付
旧記書拔并同所町奉行
より之添え書共
寛文九年 沓冊
一 青森古来留記
但 青森といふ題号之
訳書寺社之部ニ有之
貞享二年
- 一 青森派 御黒印御
差紙古来扣 沓冊
外ニ 寛永十一年同所派取建
之義ニ付
桂光院様方市川善次郎江
御黒印 沓冊
寛政六年
一 海辺附村名順御勘定 沓冊
所江被差出候御帳面之写
右ニ付御用状書拔 沓冊
嘉永二年
一 弘前方青森平館江之
里数大坂江戸江之廻米
何方相廻候哉之義
公辺方御尋ニ付御届之
写并内状共
同三年
民事江相下
一 海岸里数浅深則量 六冊
之義ニ付
公義御書付之写并
油川内真部小泊
金井ヶ沢湊目付申
出書付共
外ニ 三奉行沙汰書 式通

民事江相下

一 赤石組支配村々海浅

壹冊

深調書上帳

尔て慎被仰付候二付
南部家二而差扣差
出候写

り印

宝曆十四年

【史料2・5 整理番号2009H-5】

一 御儉約中音信贈答并

壹冊

御使者等之儀佐竹様

〔表紙〕

松前様江御断被仰遣候

〔七番題帳
(朱書) 七番題帳
〔漬〕

書付

〔

一 大久保加賀守様足輕

壹冊

仇打

(内題)
〔七番題帳〕

天保三年

(小口書)

一 越後苅羽郡椎谷町

壹冊

大谷孝之助ゝ住吉丸

〔七番題帳〕

御郡中弘之義願

い 印

但 為信公様御直書差

一 松前渡海之御人数江

壹通

上候御由緒を以願出候

軍令状

一 南部風説書一件

五拾六通

一 南部風説書并浅虫村

一 松前御人数江法令

三通

郷士今文次郎申出書

一 松前四ヶ所詰物頭江御

三通

郡奉行添書共

一 公義衆陣立見分之節

式冊

一 南部風説書并秋田

五通

風説書共

御備立

式冊

一 南部家隠居下屋敷

式通

一 於御固所
公義衆見分備之次第

一 五十人組戰略并 公義衆見分之備働共 寛政十一年	式冊	一 御領内海岸非常三 十騎御備御武器明 細帳	式冊
一 松前行軍二行列	三冊	一 非常御備御武器明細 積	式冊
一 松前行軍二行列	式冊	文化十一年	
一 松前行軍	式冊	一 公義衆松前御用掛 名前	六冊
一 五十人組行軍	式冊	同十二年	
一 松前老番立行列	老冊	一 三厩御固被仰付候二付 御備組	老冊
一 蝦夷地御用行列帳	老冊	文政四年	
一 平日之式	四冊	一 非常御備百人組御人 数割	老冊
但 内老冊五十人組 寛政九年方天保十四年迄	老冊	文政五年	
一 松前詰并三厩詰御貸 人自本土調	老冊（天部貼紙痕）	一 松前御用留目錄 同年	三冊
一 非常三十騎渡海三十 日分之調	老冊	一 三厩詰人数江法令 一 三厩百人詰營算	老冊 老冊
文化四年		一 海岸五ヶ所御固御人 数配	老冊
一 海辺御固渡御武器 調帳	老冊	一 去寅年方当巳年迄 松前詰御人数調帳	老冊
同年		一 松前并同所台場其外 三厩詰御人数共名前	老冊
一 松前表御運送相成候 御武器調帳	老冊		

調帳

一三厩詰御人数引払

老冊

弘前表江三十騎一備

名前帳

一ソウヤ詰御備組

老冊

一当三厩詰御人数御届

式冊

書井下書共

一旗本武器調

式冊

一旗本備人数積

式冊

一老番手三十騎老備

老冊

人数積并同武器調

一三厩百人詰御人数非常

老冊

渡海并諸色運送船配

仕向帳

一三厩百人詰御人数割并

老冊

同所御備御武器配

一三厩御備御武器配

老冊 (天部貼紙痕)

仕向帳

一御馬廻組頭自分士調

老通 (天・地貼紙痕)

ろ 印

寛文十一年

一松前下国残党夷共之

二通 (天部貼紙痕)

儀江戸表江御登被成候儀

元禄八年

一松前御用屋敷之内工藤

老通

忠兵衛拜借願之書付并

図式忠兵衛印判二而差

出候書付

元禄十一年

一御国青森之船頭伝兵衛

六通

水主薩摩国江漂着於

大坂右之者共雨森弥

太夫請取候節之書付并

薩摩様御役人江

此方様方被下物御書付

共

享保三年

一松前宿工藤忠左衛門取扱

老冊

向一件

享保十四年

一南蛮黒船着岸之儀

老通

知せ之書付与相見得候

得共宛所無御座候書付

寛政二年

一松前騒動之節致死亡候

三通

青森町友吉儀二付御届書

寛政年中

一箱館御陣屋江

五通

公義衆御出并御使者

御渡之法令平日之式

同年

嘉永七年

一 浦賀取扱年中定式并
臨時定式調扣

老冊

一 平館詰江御渡之法令

同年

安政四年

老冊

一 平日之式

同年

一 東西海岸要地御固之
儀於備方申出書付江

三通

一 松前御固人数彼地引

一 松前非常御人数江拜見
御自筆之写

式冊

三奉行沙汰書付御備方
添書共

人備置猶又後詰人数

茂城下ニ致手当置候旨

御届済之儀并平館江仮

陣屋御取建并大筒台場

新規御取建場所替等御

伺共

右ニ付紙面并大筒一件共五通

之写

一 浦賀表江異人着岸
同所御奉行方御届書

老冊

嘉永二年

一 平館御陣屋御取建ニ付

御届一件

五通

一 異国船之儀ニ付酒井
左衛門尉様より之御伺
書写

老冊

同六年

一 御領分海岸江異国船

到来之節出張心得

老冊

一 会津様ニ而異国船之
儀ニ付江戸御手当御人数
武器員数之御届書写

老冊

御自筆之写

同年

一 松前非常御人数江拜見
御自筆之写

老冊

御自筆之写

一 松前蝦夷地場所運上金
手扣之写

老冊

は 印

一 宝嶋江イキリス船漂着
乱妨一件

老冊

外

同所出張図并異国船
之図共式枚

- 一 松前風説之儀ニ付小野忠作并町目付御用書共
外二 松前御城并カラフトソウヤノ図共式枚
四通 沓冊
- 一 此度蝦夷地惣体御料所ニ被仰出候ニ付触書江之答書
沓冊
- 一 薩摩様方琉球江到船之仏朗西船退散御届書
沓冊
- 一 亜墨利加船退散ニ付鍋嶋黒田之両家御人数引扨之儀并浦賀表江エケレス船着之儀書状之写
沓冊
- 一 異国船到来ニ付細川様相模国御備場被仰付御国元方人数并武器急速取越逢中海陸御関所口上断御附紙済之写
三通
- 一 異人江横浜ニ而被下方一件
外 図式并アメリカ文字共式枚
沓通
- 一 異国船相見得候儀ニ付諸家様御達向并異人被下物之儀ニ付
風説
沓冊
- 一 支那国与英国之戦争
一 紅毛与黒鬼与戦争之図并右訳書共
沓冊
- 一 巴月謾録風説書
一 長崎江亜墨利加船着尔付鍋嶋様方御届書
沓冊
- 一 外国之儀ニ付長崎風説書
一 異国船風説書
沓冊
- 右ニ付内状并紙面共四通
一 異人上陸ニ付風説書
沓通
- 一 松前江異国船之儀ニ付南部家方
公辺御達不都合懸合之趣并同家海岸御固之内佐井人数冬分城下江引揚候義ニ付御留守居申出書付并内状共
沓通
- 一 浦賀表異人退帆ニ付見聞書并諸藩御届書共
外 応接場所之図式枚
八通

一 ヲロシヤ江御返翰并御場
所替御台場共
式冊

一 砲術稽古之義二付
右二付内状老通
公義御書付
老冊

一 異国人上陸二付南部家方
御届之写
老通

外 内状老通

一 異国人江出張之節沼津様
家老怪我之義二付内状
老通

一 河津殿方拝借金并熊皮
御櫓盤木合図等之御
式通

一 河津殿方拝借金并熊皮
御櫓盤木合図等之御
内意紙面

一 異国船之儀二付福山侯
御家中江御示書
老通

一 長崎ニ而魯西亞人応
接之儀
老通

一 琉球江異国船入津之始
末薩摩家方御届之写
老通

一 亞墨利加船渡来二付
諸家様方御達
式冊

一 浦賀表御固場御人数
書
老通

一 異国船之儀二付御届向并
右二付内状老通
式通

秋田南部江知らせ方共

公辺御問合候様江戸表江
之内状右二付御問合相成
兼候二付江戸表より之御
用答共

一 異国船松前江上陸応接
之始末御届之写
老冊

一 アメリカ詞書
老通

一 横文字和解阿部様
公用人書取右二付御内
状并爰元御沙汰書共
老封

一 福山侯江戸表御備御
家中人連并武器用意
等御定書之写
老冊

一 福山侯江戸表御備御
家中人連并武器用意
等御定書之写

一 阿部伊勢守様御家中江
御渡之書付写
右二付内状老通
老冊

一 外国之儀二付京都風
說書
老通

一 異人之儀二付江戸風說
書之内抜書
老冊

一 松前上地之儀二付松平
陸奥守様衆より之御
届面写
老冊

一 松前上地之儀二付松平
陸奥守様衆より之御
届面写

一 松前上地之儀二付松平
陸奥守様衆より之御
届面写

- 一新問録 老冊
- 一松前見聞書 老冊
- 一西洋新聞抜書 老冊
- 一外州国用抜書 老冊
- 一於箱館表異人取合之始末書 式冊
- 一エケレス船長崎江渡来并アメリカ船下田江渡来之義御達書 老冊
- 外 長崎へ来状之写 老通
 - 一異船羽田老艘も 老通
 - 越候儀注進有之候得者
 - 三奉行大目付御目付
 - 海防懸江川太郎左衛門
 - 登城可仕旨
- 一対州江異国船相見得候儀并奥御右筆組頭御用頼被成候儀共 老通
- 享保三年 老冊
 - 一西国筋浦々唐船漂流
 - 小笠原右近将監様松平
 - 民部太輔様松平肥前守
 - 様追弘御船備被
 - 仰渡候御書付写
- 外 唐船追弘之絵図老枚
- 寛政五年 老冊
 - 一津軽領海道通御見分
 - 御道筋御休泊附并村高里数調帳
 - 同年
 - 一津軽吉之助領分御見分村高里数調帳
- 同年 老通
 - 一ヲロシヤ人漂泊ニ付松前江平士三人差出候様申上候得共兩人相増渡海仕せ度儀御届
 - 寛政十一年
 - 一足立又右衛門函館勤中留帳
 - 天保十二年 老冊
 - 一撰州兵庫直乗船頭善助水主初太郎北亜墨利加州漂流記
 - 同十三年 老冊
 - 一唐国戦争風説書
 - 同十四年 老冊
 - 一諸家様非常御備御届書
 - 同十五年 老冊

一 日本人異国住居之者死罪

(天部貼紙痕)

異人渡海不義働之節打払

耶蘇宗門伴天連製禁異

船積諸色買取停止等被

仰出 公義御書付

一 魯西亜コンシユル箱館江罷

婦候節奥州路通行ニ付

差添人数并出立日限

御領分通行之儀

公辺へ御問合書

一 右ニ付附添之もの名

前書

一 右ニ付御留守居申出書付

に印

一 公義御軍制御改正

被仰出候書取

一 江戸表方異人之儀ニ付

御渡御書付松前箱館

御固場所江被仰遣書

一 松前箱館江御人数被

差越候義ニ付諸書付

一 異国船漂着之節可成

丈穩便ニ取計候様

公義御書付之写

壹冊

壹通

壹通

壹通

壹冊

貳冊

拾九通

壹通

一 松前渡海御人数江拜見

壹通

被仰付候

御自筆之写

一 松前ニ而病死跡式書拔

壹通

一 松前詰仮養子之義ニ付

貳通

御目付触

一 御備本備之儀ニ付書付

四通

一 公義御目付衆御当領

壹冊

着之節御尋等之儀御

用状書拔

一 公義御目付衆并外

貳拾二通

役之松前渡江海ニ付諸

書付共

一出穀御買上代米御前

三通

貸銭箱館表ニ而御渡

濟御用状書拔并御開役

申出書付共

一 蝦夷地御用ニ付

三通

公義御買入米之儀ニ付

三奉行沙汰書

一 公義御買上米残貳千

三通

六百石御買入 御免之

儀江戸伺ニ相成候書付共

一 公義御買物并建家切

貳通

組之義ニ付南部家江御

- | | | | |
|---|---------|--|----|
| 談合御差支無之様御
達二付同家町奉行江
御挨拶向并三奉行申出
書付共 | 右二付紙面沓通 | 添之儀二付伺書共 | |
| 一 公義御役人松前江御渡
海二付御通筋御見分も
可有御座候二付三奉行申出
書 | 沓冊 | 一 公義衆蝦夷地御用二付
箱館御人数之内御差
添諸伺之儀 | 三冊 |
| 外 右二付申出書付沓通 | | 一 蝦夷地江御人数越年
之儀二付御達書 | 沓通 |
| 一 船不足二付 | 沓通 | 一 箱館御奉行并外御役人
方江被進物御目録扣 | 沓冊 |
| 公義衆御迎船箱館
詰より 御免伺 | | 一 松前サワラ方以東江五百人
足輕被差備候儀二付御内
意書并浦川江御差図之
御用状之写共 | 沓通 |
| 一 公義御役人蝦夷地御
用二付箱館御固御人数
より御差添被仰付諸 | 沓通 | 外 浦川仮小屋棟札之雛
形并掟書共 式通 | |
| 伺御点羽二而被仰付候二付
又々伺之儀 | | 一 異国船一件二付松前表
より書状 | 沓通 |
| 一 公義衆蝦夷地御差添
之儀二付書付 | 三通 | 一 蝦夷地被下置候旨松前
志摩守様江御達御書付之写 | 三通 |
| 一 公義御役人蝦夷地御用
尔付箱館御固御人数之
内方御差添二付諸伺 | 沓通 | 一 松前御陣屋御引弘之
儀二付八郎兵衛殿内状并
松前一円志摩守様江御
返之儀二付南部家方伺
書写 | 式通 |
| 一 蝦夷地江御人数越年
之儀二付御達書并御徒
目付衆方心得書御差 | 三通 | 一 御渡御廻状之儀二付御 | 沓通 |

家老衆より山田剛太郎
之内状

一 松前御固御人数稽古
壹冊

道具并素読書御渡

伺書付

一 箱館御固所之儀二付
七通

諸書付

外 同所ニおいて着服定之儀

書付壹通

一 三厩詰送迎之儀二付諸手
壹通

足輕頭方申出書付

一 三厩詰之節勤向之儀
壹通

尔付御使番方申出書付

嘉永七年

一 御使番松前詰合之節
壹冊

扱向ケ条伺江附候先例

一 浮武者頭役足輕頭方
壹通

采幣之儀申出候得共御

家法之通物頭以下不相

成其外貝太鼓幕小印

等之義并大筒方兵士代

諸願諸伺之儀取扱向御

内意書共

一 兵士与力大筒隊江小筒
式通

御預之義二付御備方申

出共

一 陸奥国津輕郡海辺
五冊

異国船漂流之節手

配之覚

一 但 内壹冊年号無
五通

一 異国船漂流之節御備

向之儀二付申出書付共

一 異国人取計向之儀二付
式通

申出書付

一 御軍役品御貸付之儀
式通

尔付御備方申出共

一 松前御人数引弘之節
式冊

陣屋貸付并大筒差置

帰国之義二付御詮儀一件

右二付書付 四通

一 浦々江異国船相見得候
百三拾七通

儀二付御用所江御達向

外 異国船之図 壹枚

一 佐竹様方海岸臨時御
四通

加勢御頼御承知二付

御使者森川東兵衛方

申出書付

一 公義衆御通行之節何
式通

れ之台場ニ有之候哉

- 不束之義有之御詮議
尔付平館大筒方申出
書付江師範家添書共
- ほ 印
- 一 俄羅斯書簡和解
嘉永五年 式冊
- 一 合衆国伯理璽天德書
翰和解 壹冊
- 嘉永五年
- 一 合衆国書翰和解
同七年 壹冊
- 一 英吉利約文
右二付口達書壹通 式冊
- 安政元年
- 一 亞墨利加并魯西亞條
約 四冊
- 同二年
- 一 亞墨利加呈書
右二付御内状壹通 壹冊
- 同四年
- 一 阿蘭陀條約并魯西亞
條約追加共 式冊
- 右二付御添書并御廻達共
三通
- 安政四年
- 一 亞墨利加使節對話書
右二付御添書并御廻達演說
書三通 三冊
- 同五年
- 一 亞墨利加并魯西亞阿
蘭陀仏蘭西英吉利
支國條約并稅則共 五冊
- 右二付御添書并松前詰物頭
よりの御用状共式通
- 一 亞墨利加使節對話書
右二付御添書并御廻達
演說書共 三通 三冊
- 一 亞墨利加使節應接之
趣并使節差出候書付和
解共 三冊
- 外 演說書四通
- 一 亞墨利加使節申立之
趣并使節對話書共 六冊
- 右二付御添書并御廻達演
說書共 六通
- 一 和文條約比較之儀二付
魯西亞コンシユルコスケウ中
ツチ方江差遣問合 壹冊
- 右二付紙面壹通

へ 印

弘化三年

一 浦賀沖江異国船渡来二付

老冊

公辺方御儒者御尋二付

存寄書

嘉永六年方同七年迄

一 翰賈姜讓漂客於英

老冊

夷而寄其旧故書方硫

黄嶋異船迄

嘉永七年

一 異国船之儀二付御家中

四拾老通

存寄書

同年

一 海岸防禦向存寄書

老冊

右二付書付老通并図式五枚

一 防海論

老冊

一 異国船之儀二付松平越

老冊

中守様存寄書

一 異国船之儀二付諸家様

老冊

存寄書

一 異国船之儀二付 水戸

老冊

太公様江鶴峯彦一郎

内分申上候書付